

ウガンダ国
ナカワ職業訓練校プロジェクト
巡回指導調査団報告書

平成12年2月

国際協力事業団
社会開発協力部

序 文

我が国はウガンダ共和国に対して、1968年から74年まで「ウガンダ職業訓練センター」プロジェクトを実施し、ナカワ職業訓練校の設立と技能者育成に協力した。その後、同校はウガンダ側の手で独自に運営されてきたが、アミン政権以降の政治的・社会的混乱期を経て、施設・機材の老朽化、職員の不足、資金不足等の問題を抱え、訓練コースの運営が困難な状況にあった。

ウガンダは1986年に現ムセベニ政権が発足して以来、復興開発計画に基づいて産業の育成に努めており、今後工業労働者の需要は増加していくと予想されるが、内戦のもたらした技能労働者不足が深刻な問題になっている。

こうした状況を踏まえ、1994年5月ウガンダ政府は我が国に対して、ナカワ職業訓練校に係るプロジェクト方式技術協力を要請してきた。これを受けて国際協力事業団は無償資金協力による施設建設の支援を行う一方、プロジェクト方式技術協力の準備を進め、1997年2月に実施協議調査団が討議議事録(R/D)の署名を取り交わして、同年5月20日から5年間の予定で協力が開始された。

今般は、協力の中間地点にあたり、これまでの活動実績や計画達成度を調査・確認するとともに、協力終了までに必要な事項について提言を行うことを目的に、2000年(平成12年)1月9日から同22日まで、労働省職業能力開発局外国人研修推進室室長寺岡忠嗣氏を団長とする巡回指導調査団を派遣した。同調査団によれば、プロジェクトはカウンターパートの積極的な参加のもと、おおむね順調に運営されており、全7学科における養成訓練コースの実施も軌道に乗ってきている。

本報告書は同調査団の調査・協議結果を取りまとめたもので、今後のプロジェクト活動に広く活用されることを願うものである。

ここに、調査にご協力いただいた外務省、労働省、雇用・能力開発機構、在ウガンダ及び在ケニア日本国大使館、その他内外関係機関の方々には心から感謝の意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願い申し上げる次第である。

平成12年2月

国際協力事業団
社会開発協力部
部長 田中由美子



ナカワ職業訓練校 校長との協議



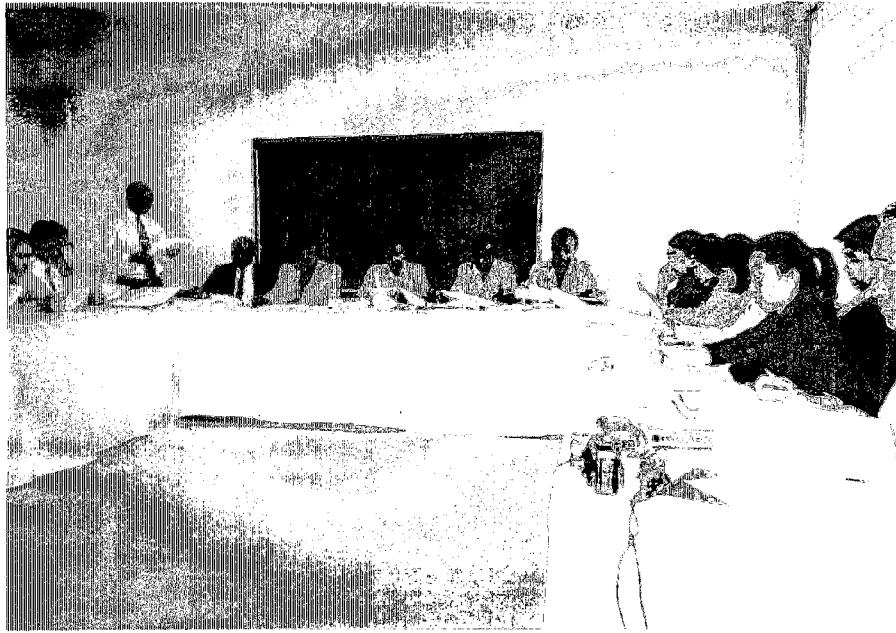
教育・スポーツ省大臣 表敬



外務省アジア局次長 表敬



職業訓練局（DIT）局長 表敬

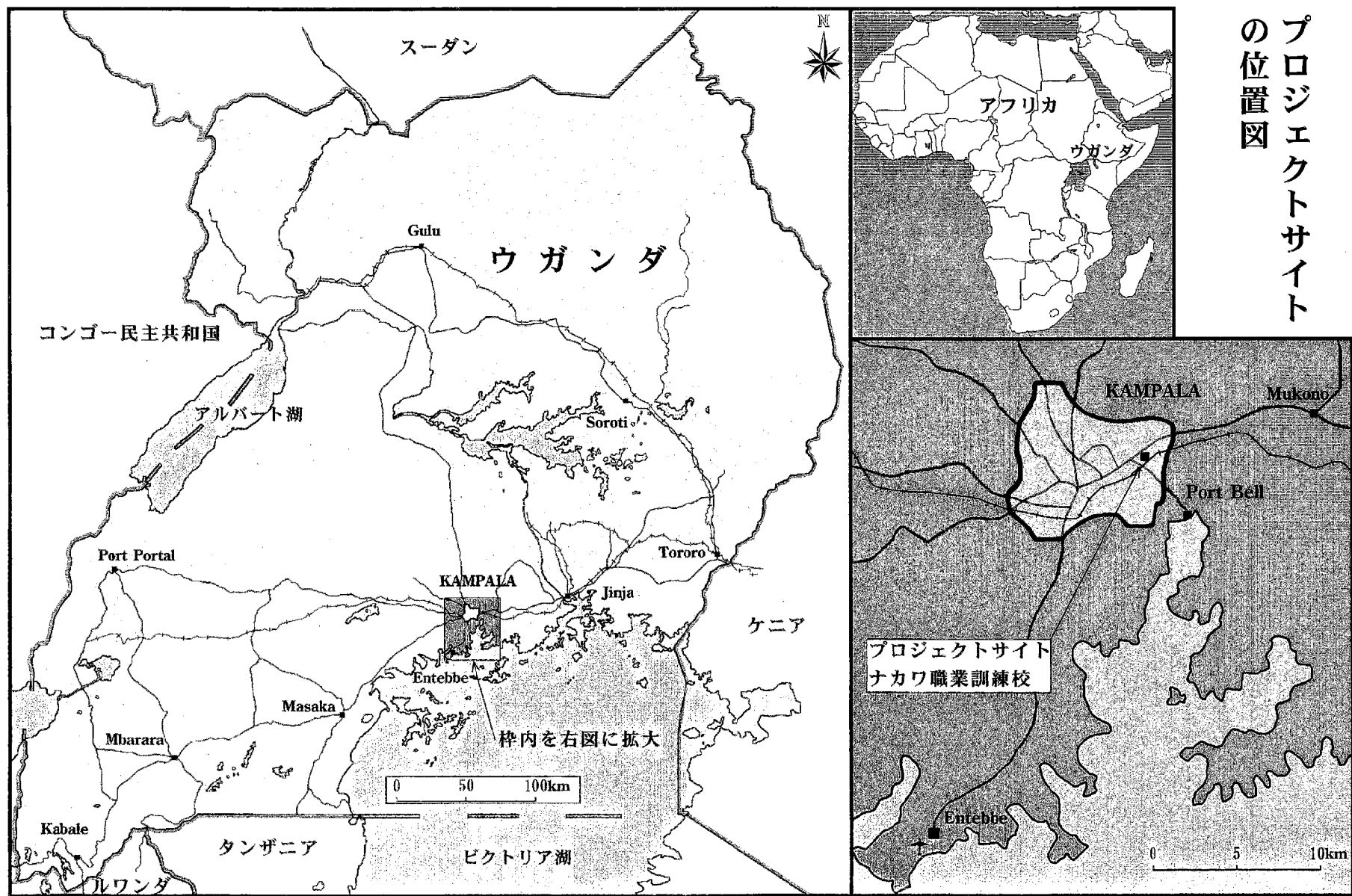


合同調整委員会



ミニッツ署名

プロジェクトサイトの
位置図



目 次

序 文
写 真
地 図

第1章 巡回指導調査団の派遣	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的	1
1 - 2 調査団の構成	1
1 - 3 調査日程	2
1 - 4 主要面談者	3
第2章 要約	5
第3章 プロジェクト進捗状況	9
3 - 1 ウガンダ側投入	9
3 - 1 - 1 施設整備状況	9
3 - 1 - 2 カウンターパート配置状況	9
3 - 1 - 3 予算措置状況	9
3 - 2 日本側投入	10
3 - 2 - 1 専門家派遣	10
3 - 2 - 2 研修員受入	10
3 - 2 - 3 機材供与	10
3 - 3 活動状況及び今後の活動計画	11
3 - 3 - 1 訓練実施体制の整備	11
3 - 3 - 2 カウンターパートへの技術移転状況	11
3 - 3 - 3 訓練コース実施状況	12
(1) 養成訓練	12
(2) 向上訓練	12
(3) 徒弟訓練	12

3 - 3 - 4 分野別活動状況	13
(1) 電子科	13
(2) 電気科	13
(3) 機械科	14
(4) 自動車科	14
(5) 木工科	14
(6) 板金科	14
(7) 溶接科	15
3 - 4 プロジェクトを取り巻く環境	15
3 - 4 - 1 ウガンダの職業訓練政策	15
3 - 4 - 2 教育・スポーツ省の組織	15
3 - 4 - 3 企業のニーズ	16
第4章 今後の活動計画	17
4 - 1 電子科	17
4 - 2 電気科	17
4 - 3 機械科	17
4 - 4 自動車科	18
4 - 5 木工科	18
4 - 6 板金科	18
4 - 7 溶接科	18
第5章 中間評価	20
付属資料	
1 . ミニッツ	23
2 . 教育・スポーツ省組織図	57
3 . ナカワ職業訓練校組織図	58
4 . 向上訓練実績表	59
5 . インカムジェネレーション運用規定	61
6 . インカムジェネレーション実績表 (1998年10月～1999年11月).....	68

第 1 章 巡回指導調査団の派遣

1 - 1 調査団派遣の経緯と目的

ナカワ職業訓練校は、ウガンダの中小企業振興に必要な技能者向上訓練実施を目的として設立され、1968年6月から1974年6月まで、我が国のプロジェクト方式技術協力が実施された。その後、アミン政権以降の政治的・社会的混乱期を経て、同校はウガンダ側の手で独自に運営されてきたが、施設・機材の老朽化、職員の不足、ローカルコストの不足等の問題を抱え、訓練コースの運営が困難な状況にあった。

ウガンダは、1986年に現ムセベニ政権が発足して以降、復興開発計画に基づいて産業の育成に努めており、今後工業労働人口の需要は増加していくと予想されるが、内戦のもたらした技能労働者の不足が深刻な問題となっており、同校においても従来の在職労働者に対する訓練（徒弟訓練及び向上訓練）だけでなく、若年の無技能者に対する養成訓練を実施していくことが急務となっている。

こうした状況を踏まえ、ウガンダ政府は1994年5月、ナカワ職業訓練校に係るプロジェクト方式技術協力を、我が国に要請してきた。これを受けて国際協力事業団は無償資金協力による施設建設の支援を行う一方、1994年7月に事前調査、1995年7月に長期調査を実施したうえで、1997年2月に実施協議調査団を派遣して討議議事録（Record of Discussions：R / D）の署名を取り交わした。この結果、同年5月20日から5年間の協力期間をもって、電子、電気、機械、自動車、木工、板金、溶接の7学科における協力が開始された。協力開始後の1998年3月には、計画打合せ調査団を派遣して、プロジェクトの進捗状況を確認した。

今回の巡回指導調査は、協力の中間地点にあたるところから、プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）及び活動計画に基づいて、プロジェクトの活動実績、投入実績、計画達成度を調査・確認し、問題点を整理する。また、プロジェクトチーム、ウガンダ側関係機関の双方に対し、今後の活動計画について協議するとともにプロジェクトの中間評価を行い、必要な提言を行う。

1 - 2 調査団の構成

団長 / 総括	寺岡 忠嗣	労働省職業能力開発局外国人研修推進室室長
訓練計画	藤原 絹子	労働省職業能力開発局海外協力課海外訓練協力官
機械・溶接系	福田 秀則	雇用・能力開発機構職業能力開発指導部 大学指導課課長補佐
電気・電子系	中野 亜求了	雇用・能力開発機構中部職業能力開発促進センター講師
協力企画	佐藤 和美	国際協力事業団社会開発協力部社会開発協力第二課職員

1 - 3 調査日程

日順	月日(曜)	行程/活動	
		団員4名	団長
1	1/9(日)	12:40 16:35 22:25	東京発(BA008) ロンドン着 ロンドン発(BA2069)
2	1/10(月)	10:00 15:30	ナイロビ着 JICAケニア事務所と打合せ
3	1/11(火)	10:30 11:35 15:00 16:30	ナイロビ発(KQ410) エンテベ着 ナカワ職業訓練校校長表敬 在ウガンダ日本国大使館表敬
4	1/12(水)	09:15 10:00 14:00	プロジェクト専門家と打合せ ナカワ職業訓練校校内施設視察 ナカワ職業訓練校と協議
5	1/13(木)	09:15 10:30 11:45	Roofing社(トタン製作)訪問 Dairy Corporation社(ミルク製造)訪問 GM Tumpeco社(金属加工)訪問
		14:15	教育・スポーツ省高等教育担当国務大臣表敬
6	1/14(金)	09:30 10:00 10:30 14:00	外務省アジア局次長表敬 ルゴゴ職業訓練校視察 職業訓練局(DIT)局長表敬 分野別協議
7	1/15(土)		団内打合せ、資料整理
8	1/16(日)		団内打合せ、資料整理
9	1/17(月)	09:30	合同調整委員会
10	1/18(火)	09:30	ミニッツ署名・交換
11	1/19(水)	09:30 12:30 13:40	在ウガンダ日本国大使館報告 エンテベ発(QU714) ナイロビ着
12	1/20(木)	11:00 23:00	JICAケニア事務所報告 ナイロビ発(BA2068)
13	1/21(金)	04:55 19:00	ロンドン着 ロンドン発(JAL402)
14	1/22(土)	15:45	東京着

1 - 4 主要面談者

(1) 教育・スポーツ省

Hon. Abdel Rwendeire, the Minister of State for Higher Education

Pius Bigirimana, Acting Permanent Secretary

Doreen S. Katusiime, Principal Assistant Secretary

Ruth M. Lematia, Commissioner of Business, Technical and Vocational Education

Kaaya Kizito, Commissioner of DIT

Titus K. Weeche, Superintendent of Apprenticeship and Inplant Training, DIT

Tuzinde Abasi, Principal of Nakawa VTI

Masolo Sam Jasper, Deputy Principal of Nakawa VTI

Nafutali Onjie, Deputy Principal of Vocational Training Centre Lugogo

(2) 外務省

Jack Wamanga Wamai, Principal Asst. Secretary, Asia and Pacific Dept.

(3) 在ウガンダ日本国大使館

飯田吉輝 公使

渡辺元治 二等書記官

(4) Roofing Ltd.

Sheikh Arif, Factory Manager

(5) Diary Corporation

Mackall Okello, Workshop Superintendent

Ben Ebangu, Engineer

(6) GT Tumpeco

Robert Bariho, General Manager

(7) J I C A ケニア事務所

橋本栄治 所長

吉徳光夫 所員

(8) プロジェクト専門家

高見 利輝	チーフアドバイザー
平川 光則	電子
藤田 正廣	電気
野澤 征夫	機械
佐々木 勝男	自動車
宝来 利憲	木工
飯田 洋丈	板金
後藤 哲	溶接
上田 耕治	訓練指導技法 (短期専門家)

第2章 要約

本巡回指導調査団は、ウガンダ共和国ナカワ職業訓練校プロジェクトの進捗状況を把握し、必要に応じて活動計画の見直しを行うため、2000年1月11日から19日までウガンダを訪問した。

ウガンダ滞在中、ナカワ職業訓練校において、日本人専門家及びそのカウンターパートからプロジェクトの進捗状況の説明を受けるとともに、プロジェクトサイトの施設・設備の状況の把握を行い、さらに、プロジェクトの運営に関する意見交換を行った。教育・スポーツ省の高等教育担当国務大臣をはじめ、同省の職業訓練局及び外務省アジア・太平洋局の本プロジェクト関係者とプロジェクトの運営方法等について意見交換を行った。また、現在、ナカワ職業訓練校の養成訓練生を企業内実習生として受け入れている民間企業を訪問し、実習状況を把握するとともに、教育・スポーツ省の職業訓練校の1つであるルゴゴ職業訓練校を訪問した。さらに、プロジェクトの合同調整委員会に参加するとともに、ウガンダ側のプロジェクト関係者とプロジェクトの今後の運営方法について協議を行い、合意事項等をミニッツとして取りまとめた。

(1) プロジェクトの運営状況

上記の調査・協議の結果、日本人専門家及びウガンダのプロジェクト関係者の努力によりプロジェクトはおおむね順調に推進されていることが明らかになった。その状況の概要は次のとおりである。

- 1) 機械、電気、溶接及び自動車の養成訓練については、1998年4月に開始され、現在、1年生及び2年生が在籍している。2年生については民間企業における企業内実習が行われているが、訓練生が有している技能等は企業関係者から高い評価を受けており、今後、養成訓練生の当該企業への就職につながることを期待される。板金、電子及び木工の養成訓練については、1999年5月に開始され、現在、1年生が在籍している。また、養成訓練の応募者数は定員をはるかに上回るなど応募状況は良好であり、ウガンダにおいて本校の評価が高いことがうかがえる。なお、今回、これまでの応募状況や施設・設備の状況を考慮して各科の最大定員を20名とすることが決定された。
- 2) 向上訓練については、訓練生は少ないものの各科で開始されている。
- 3) 日本からの供与機材の据え付け・活用は、順調に行われている。
- 4) カウンターパートの配置については、現在、数的には充足している。
- 5) プロジェクトの円滑な運営のためにカウンターパート及び日本人専門家を構成員とする9つの委員会が設置され、訓練校の運営方法等について十分な議論がなされる仕組みとなっており、これを通じカウンターパートが訓練校の運営に積極的な役割を果たしている。本校の運営の自立性、持続性という観点からも注目すべき活動である。なお、より効

率的な運営を図るため、9つの委員会を6つに再編することが今回の合同調整委員会で決定された。

- 6) 訓練校の運営資金を確保するため、訓練の際に制作された机、イス等の製品の販売、会議室の貸し出し、各種部材の受託加工、各種製品の受託生産等の活動、いわゆるインカムジェネレーション活動が行われており、本校の自立性、持続性という観点から注目すべき活動である。
- 7) 訓練計画の調整等を行う学務課 (Pedagogy Department) の設置が合同調整委員会で認められた。
- 8) 本校を取り巻くフェンスの設置工事については、ウガンダ政府の予算により既に完了している。

(2) プロジェクトの運営上の問題点等

- 1) ナカワ職業訓練校においては、夜間の養成訓練 (1日2時間、1週5日間、訓練期間2年間) が従来から実施されてきていたが、プロジェクトの協力対象とはしてこなかった。しかしウガンダ政府が夜間訓練の実施を重要視していること、昼間の養成訓練の応募者が定員をはるかに上回っているため、入校できなかった者が夜間の養成訓練を受講している例があること、夜間の養成訓練の修了者も昼間の養成訓練修了者と同等の資格を得ることとなっていること等から、今後は技術協力の対象とすることとした。ただし、夜間の養成訓練のための技術移転は、日本人専門家の安全性の観点から昼間に行うこととし、日本人専門家は夜間訓練に立ち会わないことでウガンダ側の了解を得た。
- 2) 徒弟訓練については、技術協力の対象とされているにもかかわらず、これまでのところその実績はない状況である。今回の調査において、徒弟訓練の訓練生の募集責任は職業訓練局にあることが明らかとなったため、職業訓練局が訓練生の募集を行い、ナカワ職業訓練校に徒弟訓練の実施を要請した場合にプロジェクトとしてその実施に協力する旨、プロジェクトと職業訓練局との役割分担を明確にした。なお、職業訓練局長は、徒弟訓練を今後職業訓練局の政策として進めるべく、補助金を大蔵省に要求しており、その実施は可能である旨述べている。
- 3) インカムジェネレーション活動、委員会活動によるプロジェクトの運営活動、夜間の養成訓練をプロジェクトの活動として明確に位置づけるとともに、徒弟訓練の位置づけを明確にするため、プロジェクト・デザイン・マトリックス (P D M) を改訂することが合同調整委員会で合意された。
- 4) カウンターパートの配置については、R / Dにおいて各科ともシニアインストラクター1名、インストラクター3名、アシスタントインストラクター2名を配置することとされている。

るが、このうちインストラクターの配置数が足りない科があり、その配置を要請した。また、校長及び副校長については、それぞれ校長代理及び副校長代理として任命されており、プロジェクトの運営上好ましくないことから、人事院に対し正式な任命を働きかけるよう要請した。

- 5) カウンターパートへの技術移転については、カウンターパートの配置の遅れ、カウンターパートの転職等により必ずしも十分でない。このため、日本人専門家チームは、当面、養成訓練の技術移転に重点を置かざるを得ないとの考えである。この技術移転の遅れにより、向上訓練も十分実施できない状況にある。
- 6) 養成訓練のうち、木工科のみ訓練生数が定員を下回っている状況にある。ルゴゴ職業訓練校についても同様の傾向にあるが、ナカワ職業訓練校の施設・訓練内容等をPRするなど、募集方法等についての工夫が必要と考えられる。
- 7) 日本人専門家の派遣については、現在の電気の専門家の任期が切れた際には電気及び電子の両分野を1名の専門家が、また、板金の専門家の任期が切れた際には溶接及び板金の両分野を1名の専門家が担当することでウガンダ側と合意した。
- 8) ウガンダ政府予算が逼迫していることから、ナカワ職業訓練校に配賦される予算が十分でない状況が続き、また、給与等も定期的に支給されていない状況にあるため、必要な予算の確保を要請した。

(3) その他

- 1) ウガンダ側は、ナカワ職業訓練校の開所式を2000年4月に行うことを予定している旨表明した。
- 2) 教育・スポーツ省高等教育担当国務大臣より、小学校の卒業生を対象として初歩的な職業訓練を行う地域職業訓練センターを約850設置する計画があること、中等学校において職業・技術教育を開始する計画があること、ドイツが約800ある民間の訓練センターのうち、21の施設に対して技術協力を行っていること等の説明があった。
- 3) 職業訓練局長から、職業訓練局は労働社会福祉省から教育・スポーツ省に移管された際に位置づけが明確にされていなかったが、次の会計年度においては教育・スポーツ省事務次官直属の局の1つとして位置づけられる予定であること、職業訓練局は、ナカワ、ルゴゴ等の職業訓練校や民間の職業訓練センターを所管しており、また、職業訓練の基準を決定することとなっているなど、その権限は教育・スポーツ省への移管後も変更されていないこと、職業訓練局を独立法人化させることは特に検討されていないこと(職業訓練局は、一定の範囲で独自に予算を使うことが従来から認められていること)等の説明があった。

なお、ケニア大使館のウガンダ駐在飯田公使から、本プロジェクトについては延長するこ

とを視野に入れて今後の方針を早めに詰めておくことが望ましい旨のコメントがあった。

第3章 プロジェクト進捗状況

3 - 1 ウガンダ側投入

3 - 1 - 1 施設整備状況

ナカワ職業訓練校の建物は、無償資金協力により、既存の実習場2棟、管理講義棟、訓練生寮2棟、食堂が補修され、実習場1棟と訓練生寮2棟が新設された。施設内は清掃がいきとどいており、清潔に保たれていた。

懸案となっていた、機材の盗難防止等安全確保のための施設周辺フェンス建設については、ウガンダ側の努力により工事が完了している。

3 - 1 - 2 カウンターパート配置状況

現在ナカワ職業訓練校に配置されているカウンターパート(C/P)は、校長、副校長、学務課3名、シニアインストラクターが各科1名(計7名)、インストラクターが電子、機械、自動車、木工、板金科で各2名(計10名)、電気、溶接科で各3名(計6名)、アシスタントインストラクター計20名の合計48名である。

C/Pの配置については、5学科でインストラクター1名が欠員している他は、すべて完了している。残るC/Pの配置について、調査団からウガンダ側へ要請したところ、ウガンダ側からは現在リクルート中であり、適任者が見つかれば次第採用する準備がある旨回答があった。

校長と副校長については、両名とも依然、代行身分の状態が続いており、対外的な活動を行ううえで支障をきたすこともある。本件については、調査団から教育・スポーツ省に対し、校長と副校長を正式な身分へ変更するよう、人事院への働きかけを依頼した。

プロジェクト開始後、訓練指導技法の重要性が認識され、R/DではC/Pの配置を定めていないが、ナカワ職業訓練校側では、同分野を専門に担当するC/Pを配置していた。調査団訪問中に開催した第3回合同調整委員会で、同分野を、正式に学務課として設置することが認められた。

3 - 1 - 3 予算措置状況

本プロジェクトの活動予算は政府予算、訓練授業料、インカムジェネレーション活動による収入からなっている。これまでの収入実績は、97/98年度(7月から翌6月末まで)は148,325,000Ush(1997年7月1日現在のレート100円=932.77Ush〔ウガンダシリング〕、したがって1,590万円相当)、98/99年度270,000,000Ush(1998年7月1日現在100円=879.64Ush、邦貨3,070万円相当)である。99/2000年度には514,512,000Ush(1999年7月1日現在100円=1,200.69Ush、邦貨4,285万円相当)の収入が予定されている。

政府予算については、予算措置の遅れが、プロジェクト活動に支障を来すこともあったことから、調査団より教育・スポーツ省に対し、適切な予算措置を要請した。これに対し、ウガンダ側からは、財政的な支援の重要性は十分に理解しており、大蔵省に申し入れを行う等、努力している旨説明があった。また、ウガンダ政府の予算はcash budget制で、前月の歳入状況を踏まえて当月の予算が執行されるため、場合によっては計画どおりに予算を執行できない場合もあることを理解してほしい旨発言があった。

ナカワ職業訓練校の収入で特筆すべき点はインカムジェネレーション活動による収入である。インカムジェネレーション活動とは、施設の貸し出し、訓練で製作した作品の販売等により独自の収入源を確保するための活動であり、政府予算の執行が不安定ななか、プロジェクトの自立的、持続的発展につながる努力として高く評価することができる。

3 - 2 日本側投入

3 - 2 - 1 専門家派遣

プロジェクト開始以降、チーフアドバイザー、調整員、訓練計画専門家、7学科専門家を順次派遣しており、調整員、機械専門家、溶接専門家の交代を含めて、これまでに計13名の長期専門家を派遣している。プロジェクト後半の派遣計画については、技術移転の進捗状況を考慮のうえ、既に訓練計画専門家の派遣を終了しており、今後は電気・電子科に専門家1名、溶接・板金科に専門家1名とし、長期専門家7名体制とすることを確認した。

短期専門家については、これまで、訓練指導技法、木工・金属塗装分野等に計4名を派遣している。

3 - 2 - 2 研修員受入

C/Pの本邦研修は、職業訓練校管理2名、電子2名、電気2名、機械2名、自動車1名、木工1名、板金2名、溶接2名の計14名に対して実施した。さらに、本プロジェクトの所管官庁が1998年7月に労働福祉省から教育・スポーツ省へ変更され、教育・スポーツ省次官がプロジェクト総括責任者となったことから、平成11年度には教育・スポーツ省次官を招へいし、日本の職業訓練政策を紹介するとともに、本プロジェクトの円滑な実施に対する協力を依頼した。

3 - 2 - 3 機材供与

ナカワ職業訓練校の主要機材は、電気科、機械科、自動車科、溶接科については無償資金協力により供与されており、プロジェクト方式技術協力では、電子科、木工科、板金科について供与する計画である。既に無償資金協力による供与機材と平成9年度プロジェクト供与機材が搬入、設置され、訓練で使用されている。平成10年度プロジェクト供与機材については、既に搬入が

完了しており、各科で据え付け作業を実施しているところである。平成 11 年度プロジェクト供与機材は本邦にて入札手続き中である。

3 - 3 活動状況及び今後の活動計画

3 - 3 - 1 訓練実施体制の整備

校長、副校長以下約 100 名の職員、うち C / P は 48 名を配置し、また、今回学校組織に学務課 (Pedagogy Department) を新設するなど、運営管理体制の整備が図られている。

C / P の配置については、インストラクター 5 名の欠員があるだけで、数には大きな問題がないが、現在に至るまで少なからず C / P の入れ替えがあり、学科によっては、1998 年に入ってようやく戦力となる C / P が配置されたところもある。しかし、C / P の入れ替えは、問題のある者を替えた場合が多く、前向きなものであるとのことで、優秀な C / P の配置については、学校側も常に努力を払っており、専門家も認めるところであった。校長、副校長の身分を人事院の認める正式なものにするという点については、今回教育・スポーツ省に要求した。

また、養成訓練は昼間に加えて夜間の訓練が当初から実施されており、C / P にオーバーワークの傾向がないのかという懸念があったが、一部の C / P に確認したところ、夜間は毎日出るわけではないので、それほどオーバーワークではないという話であった。

訓練機材の選定についてはどの学科でも問題がなく、据え付けについてもおおむね良好であった。これら訓練機材の保守・管理についても、専門家の指導により、特に問題がなく行われている。

3 - 3 - 2 カウンターパートへの技術移転状況

技術移転状況は各人また、項目により差があるが、専門家の評価によると、学科指導方法及び実技指導方法において、専門家及び訪日研修による技術移転を行った項目については、おおむね「専門分野における技能及び知識があり、業務をほぼ遂行できる」レベル (評価基準 5 段階の 3 のレベル) にある者が多い。技術移転を受けてもレベルの改善しない者はまれにいるが、何か月もこの状態が変わらない場合は、学校側が改善指導を行っている。

カリキュラム、シラバス、教材の作成・改訂についてもおおむね順調に技術移転が行われている。

これら C / P への技術移転においては、1998 年度より導入している 4 点セット、すなわちレッスンプラン、ワークシート、インフォメーションシート (学科指導票)、アサイメントシート (課題票) の作成の指導が有効に機能しており、これに加えて、現在は 6 点セット (養成訓練の訓練概念図、シラバス概要図、シラバス、カリキュラム体系図、カリキュラム、訓練細目の訓練目標) の作成を指導している。

C / Pの訪日研修については、R / Dで予定されているもの以外に、J I C Aの集団研修を大いに活用しており、効果を上げている。

今回、各科のC / Pに「訪日研修で学んだ知識・技能をどのように生かしているか」及び「将来の技術移転について何を希望あるいは期待するか」という2点について簡単なアンケート調査を行った。その結果、前者の質問については、訪日研修を受けたC / Pの少なからずが、得た知識・技能を生徒への指導のみならず、同僚指導員への指導にも生かしており、研修結果が有効に活用されているとしている。

後者の質問については、技術移転対象をナカワ職業訓練校の生徒や広くナカワ職業訓練校を拠点とした国内労働者と考えて回答したC / Pが多く、国内産業の発展、ひいては労働者の生活レベルの向上をも視野に入れ、今後自らが更に知識・技能を向上させて、生徒に効果的に技術移転を行い、卒業生が産業界で活躍していけるようにしたいと答えたり、将来的には、ナカワ職業訓練校を技能習得の国内拠点にしていきたいとしている。

3 - 3 - 3 訓練コース実施状況

(1) 養成訓練

電気、機械、自動車、溶接4科については、1998年4月に訓練が開始され、電子、木工、板金3科については1999年5月に開始された。いずれの年も木工を除いて定員を上回る応募があり、20名内外の受入れを行っている。しかし、学費のやりくりの問題等から、訓練生の数は常に変動があるとのことであった。(なお、1999年末、教育・スポーツ省の通達により授業料が年間590,000Ushから250,000Ushへ大幅に減額された)

木工科の応募者の増加については、学校側も努力しており、木工科のある高校の関係者を呼んでPRに努めるなどしている。

(2) 向上訓練

1998年6月～1999年11月の間、電子3コース、電気10コース、機械6コース、自動車11コース、木工1コース、板金5コース、溶接1コースの計37コースの向上訓練が実施された。しかしながら、訓練校の要である養成訓練に重点を置く考えなどから積極的に募集活動を行わなかったため、各コース受講者は少なかった。

今後もC / Pの能力向上、養成訓練の仕上がりなどを考慮しながら取り組んでいくべきとみる。

(3) 徒弟訓練

徒弟訓練については、職業訓練局(DIT)の責任で募集・実施が行われることが今回の

調査で明らかになった。今後、徒弟訓練実施のための予算が確保されるなどの動きがあれば、実施の見込みがあると思われる。

3 - 3 - 4 分野別活動状況

全体的に総括すると、C / Pの配置については、多くの科においてインストラクター1名程度の欠員はあるものの、おおむね良好である。機器等の選定については、良くできているが、据え付けに若干の問題がある。機工具も含めて機器等の保管状況は良好である。職業訓練指導の方法の評価については先行している科においてはおおむね良好である。機器等を活用した訓練の実施については、C / Pの配置の時期、C / Pの個々の能力等により各科異なるが、おおむね良好である。訓練用教材の作成は、ほとんどの科において遅れている。企業のニーズ調査は実施しているが、企業の要望を十分に把握していない。カリキュラム等は、全科作成済みであるが、改訂等についてはまだ行っていない。テキストの作成等は、一部を除いて十分ではない。養成訓練の訓練生の募集については、ほとんどの科で定員を超えており問題はないが、向上訓練はまだ軌道に乗っていない。企業実習に関しては、4科で実施しており、良好である。なお、コース評価については、現段階においてはできない。

(1) 電子科

C / P 1名が欠員している。機器等の選定については良くできていて、据え付けにも問題がない。機工具も含めて機器等の保管状況は良好である。職業訓練指導の方法の評価はおおむね良好である。機器等を活用した訓練の実施については良好である。訓練用教材の作成は順調に行われている。企業ニーズ調査は実施しており、企業の要望を十分に把握している。カリキュラム等は作成済みであるが、改訂等についてはまだ行っていない。テキストの作成等は十分ではない。養成訓練の訓練生の募集については定員を超えており問題はないが、向上訓練はほとんど実績がない。企業実習は実施していない。

(2) 電気科

C / Pはすべて配置している。機器等の選定については良くできていて、据え付けにも問題がない。機工具も含めて機器等の保管状況は良好である。職業訓練指導の方法の評価はおおむね良好である。機器等を活用した訓練の実施については良好である。訓練用教材の作成は遅れている。企業のニーズ調査は実施しているが、企業の要望を十分に把握していない。カリキュラム等は作成済みであるが、改訂等についてはまだ行っていない。テキストの作成等は十分ではない。養成訓練の訓練生の募集については定員を超えており問題はないが、向上訓練はほとんど実績がない。企業実習は実施しており良好である。

(3) 機械科

C / P 1 名が欠員している。機器等の選定については良くできていて、据え付けにも問題がない。機工具も含めて機器等の保管状況は良好である。職業訓練指導の方法の評価は良好である。機器等を活用した訓練の実施については良好である。訓練用教材の作成は遅れている。企業のニーズ調査は実施しているが、企業の要望を十分に把握していない。カリキュラム等は作成済みであるが、改訂等についてはまだ行っていない。テキストの作成等は十分ではない。養成訓練の訓練生の募集については定員を超えており問題はないが、向上訓練はほとんど実績がない。企業実習は実施しており良好である。

(4) 自動車科

C / P 1 名が欠員している。機器等の選定については良くできていて、据え付けにも問題がない。機工具も含めて機器等の保管状況は良好である。職業訓練指導の方法の評価はおおむね良好である。機器等を活用した訓練の実施については良好である。訓練用教材の作成は遅れている。企業のニーズ調査は実施しているが、企業の要望を十分に把握していない。カリキュラム等は作成済みであるが、改訂等についてはまだ行っていない。テキストの作成等は十分ではない。養成訓練の訓練生の募集については定員を超えており問題はない。向上訓練は一番実績を上げているが、まだ十分ではない。企業実習は実施しており良好である。

(5) 木工科

C / P 1 名が欠員している。機器等の選定については良くできていて、据え付けにも問題がない。機工具も含めて機器等の保管状況は良好である。職業訓練指導の方法の評価は十分ではない。機器等を活用した訓練の実施については良好である。訓練用教材の作成は遅れている。企業のニーズ調査は実施しているが、企業の要望を十分に把握していない。カリキュラム等は作成済みであるが、改訂等についてはまだ行っていない。テキストの作成等は十分ではない。養成訓練の訓練生の募集については定員を満たしておらず、問題がある。また、向上訓練はほとんど実績がない。企業実習は実施していない。

(6) 板金科

C / P 1 名が欠員している。機器等の選定については良くできているが、輸送等で一部破損し、据え付けできない機器がある。職業訓練指導の方法の評価は十分ではない。機器等を活用した訓練の実施については良好である。訓練用教材の作成は遅れている。企業のニーズ調査は実施しているが、企業の要望を十分に把握していない。カリキュラム等は作成済みであるが、改訂等についてはまだ行っていない。テキストの作成等は十分ではない。養成訓練

の訓練生の募集については定員を超えており問題はないが、向上訓練はほとんど実績がない。企業実習は実施していない。

(7) 溶接科

C / Pはすべて配置している。機器等の選定については良くできていて、据え付けにも問題がない。機工具も含めて機器等の保管状況は良好である。職業訓練指導の方法の評価はおおむね良好である。機器等を活用した訓練の実施については良好である。訓練用教材の作成は遅れている。企業のニーズ調査は実施しているが、企業の要望を十分に把握していない。カリキュラム等は作成済みであるが、改訂等についてはまだ行っていない。テキストの作成等は十分ではない。養成訓練の訓練生の募集については定員を超えており問題はないが、向上訓練はほとんど実績がない。企業実習は実施しており、良好である。

3 - 4 プロジェクトを取り巻く環境

3 - 4 - 1 ウガンダの職業訓練政策

1992年の教育政策に基づくウガンダの職業訓練政策としては、主に、小学校卒業生を対象とする850の地域職業訓練センター(village politechnic)の設立、総括的中等学校(comprehensive secondary school)への転換、現存の職業訓練校の技術力向上、民間訓練センターに対する支援、があげられる。

の政策は、就学人口の増加に伴い中等学校での受入れが限界に達しているため、代替教育機関として職業訓練校の増設を計画するものである。また、については、中等教育において学問のみ教育するのではなく、技術教育も行うことをめざすものである。については、ウガンダに約800存在する民間訓練センターのうち、21センターに対し、ドイツが2年間の予定でカリキュラム改定等に関する協力を行っている。

教育・スポーツ省としては、ウガンダで最高レベルにあるナカワ職業訓練校を中心として、国の職業訓練を振興していきたいと考えており、本プロジェクトに対する期待も大きい。

3 - 4 - 2 教育・スポーツ省の組織

1998年の省庁改編の結果、職業訓練の所管は労働福祉省から教育・スポーツ省へ変更された。これに伴い、職業訓練局(DIT)、ナカワ職業訓練校を含むDIT傘下の職業訓練校も教育・スポーツ省の所属となったが、その位置づけは明確にされておらず、現時点の教育・スポーツ省組織図上にも示されていない。教育・スポーツ省には、従来から職業教育を所管する部局として、Business, Technical and Vocational Education局が存在しており、教育・スポーツ省は同局とDIT、DIT傘下の職業訓練校の関係を含めて、整理を進めているようである。

本プロジェクトは、従来どおりD I Tを直属の所属機関としつつも、教育・スポーツ省次官との直接的なつながりを深めており、所管官庁変更によるプロジェクト運営面への大きな支障は、これまでのところ生じていない。

3 - 4 - 3 企業のニーズ

電気、機械、溶接、自動車の養成訓練コースでは、2年生が現在、企業内訓練に参加している。企業内訓練受入先企業では、ナカワ職業訓練校生徒の技術力を高く評価しており、企業内訓練終了後に訓練生を採用することを検討している企業も存在する。こうした状況から判断すると、本プロジェクトが2000年3月に送り出す卒業生については、多くの就職が期待される。

企業内訓練受入先企業におけるヒアリングの結果、従業員の技術レベルの低さを認識しており、従業員に対する向上訓練の実施を希望していることが分かった。本プロジェクトではC / Pの技術力の低さもあり、養成訓練の立ち上げに重点を置いていたため、これまで向上訓練を本格的に実施していないが、プロジェクト後半では、こうした企業のニーズに応え、向上訓練を定期的に行っていくことが望ましい。

第4章 今後の活動計画

全体的には、カウンターパート（C/P）の配置及び能力に多少の違いがあるものの、各科とも技術移転及び養成訓練は、ほぼ順調に行われていると思われる。今後の課題としては、整備された供与機器等を活用したより高度な技術移転を行うことが重要となってくる。そのためには、具体的な技術移転の年間、月間及び週間の計画書を作成し、定期的に技術移転が確保できるように学校側（適正なC/Pの配置）及びC/P（確実な時間の確保）と協議する必要がある。

各科別の今後の活動に係る具体的な問題点及びその解決策あるいは留意点については以下のとおりである。

4 - 1 電子科

電子科の技術移転に関しては、おおむね順調に進んでいると思われる。しかし、C/Pにすべてを任せることはまだ無理である。この理由としては、指導するうえでの心構えができていないこと、指導するうえでのノウハウが足りないこと、学科全体的な見方ができないことがあげられる。これには、専門家の立場から見た仕上がり像とウガンダの現状から見た仕上がり像に大きな違いが生じている背景がある。しかし、ウガンダが高度成長期にある今、専門家の立場から見た仕上がり像に水準をおくことが望ましい。そのため、今後の課題として、これらの問題を改善し、C/Pを自立させることが必要である。

4 - 2 電気科

電気科の科目は大きく分けて、電気配線、制御盤、モータ、冷凍空調の4科目がある。このなかで、現在技術移転がほぼ完了しているものは、電気配線とモータのみである。この理由としてC/Pの知識力は高いが技能は高くないことと、指導に対する認識が専門家と大きく異なることがあげられる。しかし、専門家の努力により最近になってC/Pの認識がやや改善されてきたので、これから制御盤と冷凍空調に関して技術移転を始めるところである。だが残念ながら、現在の専門家は任期があと2か月で満了すること、後任は派遣されないことが決定している。しかし、制御盤と冷凍空調に関しての企業ニーズは非常に高いため、制御盤と冷凍空調に関して短期専門家を派遣する必要がある。

4 - 3 機械科

C/Pの配置については、質的・量的に一番充実しているが、それでも、C/Pが有している技能レベルは養成訓練を指導できる程度であり、向上訓練の本格的な実施においては、更に専門的（例：超硬工具の知識や切削理論等）な技能・技術のレベルアップが必要と思われる。また、

技能・技術のレベルだけでなく、作成した物の精度や仕上げといった付加価値の考え方を指導する必要がある。

専門家はまだ赴任して数か月であるが、海外の経験も豊富であり、今後、より専門的な技術移転を期待したい。

4 - 4 自動車科

C / Pのほとんどが外国での研修(日本の研修も含む)の経験があるので、今後のより専門的な技術移転に期待できる。機器等については、一般的に使用されているものを多く取り入れており、養成、向上、インカムジェネレーション等に活用されているが、今後は機器等のメンテナンスを重要視し、耐用年数を考慮した指導が必要である。市内も含めて、ほとんどが日本車であり、今後は電子部品が多く使用された車種が輸入されることが想定され、カリキュラム、教材の改訂が求められる。現専門家は2000年3月をもって交代となるが、後任に期待することとなる。

4 - 5 木工科

C / Pの配置が大幅に遅れ、技術移転が順調に行われていないが、養成訓練の実施には特に問題はない。機器等についても、据え付け工事等の遅れがあり苦労したようであるが、メンテナンスを重要視した技術移転が行われている。

ウガンダにおける木工技能者の地位が低いことなどにより入校者が少ないが、今後は施設・設備内容の公開とともに、技能等への向上を広くアピールすることが必要である。

専門家は任期を延長し、積極的に活動しているので、インカムジェネレーションの指導も含めて今後に期待したい。

4 - 6 板金科

板金科と配管科は共通する部分はあるものの、専門的な技能レベルにおいては異なるものである。現専門家は主として板金が専門であり、配管の一部は担当できるが、技能的な部分については難しい。板金部門に限って言えば、C / Pの配置の遅れ及び能力の問題はあるものの、技術移転等に特に問題があるわけではなく、現専門家の任期中に、予定された機器等が設置されれば(サイトに到着した機器等の一部に欠陥が指摘されている)特に問題はないと思われる。しかし、配管担当のC / Pに対する技術移転は進んでおらず、今後は専門家の数の縮小の関係から板金関係の後任が派遣されないことから、配管の短期専門家の派遣が急がれる。

4 - 7 溶接科

板金、溶接の共用実習場は、他科から比較しても、また、機器等の数、安全面からも狭すぎる

ように思う。機器等の一部はまだ整備されていないが、現有の機器等だけで十分に技術移転にも訓練にも対応できる。ただし、溶接は材料費及び機器等の消耗品を多く使用することから十分な予算措置が必要であり、インカムジェネレーションも含めて何らかの手だてを要する。

専門家は赴任後数か月であり、本格的な技術移転の準備をしている段階であるが、板金科の専門家の補充がないことから、板金科に関する技術移転等にも対応することになるので、今後の活躍に期待したい。

第5章 中間評価

プロジェクト中間時点で実施すべき評価4項目（目標達成度、実施の効率性、計画の妥当性、自立発展性）の観点から、本プロジェクトのこれまでの活動を評価すると、以下のとおり概括することができる。

（1）目標達成度

7分野の養成訓練、向上訓練が実施され、養成訓練生については企業内訓練の実施で企業の評価がおおむね高く、向上訓練については実施体制の整備に伴い、産業界のニーズに徐々に応えつつある。このため、「ナカワ職業訓練校において、各分野（機械、電気、溶接、板金、自動車、電子、家具製作）で産業、工業界の求める技術者が養成される」というプロジェクトの目標は達成されつつある。

（2）実施の効率性

各投入が適正に行われ、タイミングについても特に大きな問題がなかったため、各分野の職業訓練に必要な体制が整備され、各分野の職業訓練指導員の能力が向上した。また、養成訓練、向上訓練の訓練コース内容が設定され、実施されていることから、成果は達成され、プロジェクトは効率的に行われている。

（3）計画の妥当性

設定された目標は現在でもウガンダの開発政策に合致しており、ウガンダ工業界のニーズに応えつつあるので、計画は妥当であった。

（4）自立発展性（見通し）

各委員会活動によるウガンダ側関係者の主体的な運営及びインカムジェネレーション活動による財政的裏付け等により、自立発展に明るい見通しがある。

付 属 資 料

1. ミニッツ
2. 教育・スポーツ省組織図
3. ナカワ職業訓練校組織図
4. 向上訓練実績表
5. インカムジェネレーション運用規定
6. インカムジェネレーション実績表（1998年10月～1999年11月）


MINUTES OF THE MEETINGS
BETWEEN THE JAPANESE ADVISORY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF UGANDA
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE NAKAWA VOCATIONAL TRAINING INSTITUTE PROJECT

The Japanese Advisory Team organized by the Japan International Cooperation Agency and headed by Mr. Tadashi Teraoka (hereinafter referred to as "the Team") visited the Republic of Uganda from January 11 to 19, 2000 for the smooth and successful implementation of the Nakawa Vocational Training Institute Project (hereinafter referred to as "the Project").

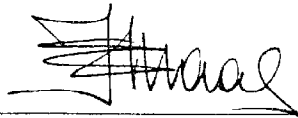
During its stay in the Republic of Uganda, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Ugandan authorities concerned in respect of the implementation and progress of the technical cooperation programs for the Project.

As a result of the discussions, both sides made the Minutes of the Meetings attached hereto.

Kampala, January 18, 2000



Mr. Tadashi Teraoka
Leader
Japanese Advisory Team
Japan International Cooperation Agency,
Japan



Mr. Pius Bigirimana
Acting Permanent Secretary
Ministry of Education and Sports,
The Republic of Uganda

ATTACHED DOCUMENT

I. ACHIEVEMENTS OF THE PROJECT

The Team and the Ugandan side reviewed the progress of the Project in accordance with the Record of Discussions (hereinafter referred to as "the R/D") and the Minutes of the Meetings (hereinafter referred to as "the M/M1") signed between the Japanese Implementation Study Team and the Ugandan authorities concerned on March 5, 1997, and also with the Minutes of the Meetings (hereinafter referred to as "the M/M2") signed on March 10, 1998 during the visit of the Japanese Consultation Team.

Both sides confirmed that the Project, in general, had been successfully and smoothly implemented so far, and that the necessary actions to achieve the Project Purpose should further be made by both sides.

1. Input to the Project

The Team and the Ugandan side reviewed the input to the Project made by both sides and confirmed as follows;

1-1. Input by the Ugandan side

(1) Land, Building and Facilities

The land, building and facilities necessary for the implementation of the Project listed in the ANNEX-VI of the R/D have been provided and properly maintained by the Ugandan side. According to the M/M2, the Ugandan side had completed the construction of fences surrounding the buildings.

(2) Budget for the Project

The Ugandan side allocated the budget for Ugandan Fiscal Year (hereinafter referred to as "UFY") 1997/98 and 1998/99 necessary for the implementation of the Project.

Details of the budget allocated and expended are shown in ANNEX-I.

(3) Assignment of the Personnel

The counterparts and the administrative personnel for the Project have been assigned as shown in ANNEX-II.

The pedagogy department, which consists of the staff in charge of coordination of training programmes, institute affairs, and so on, was approved in the Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "the JCC").



1-2. Input by the Japanese side

(1) Dispatch of Japanese Experts

The Japanese side had dispatched a total of thirteen (13) long-term experts and

four (4) short-term experts. The list of the Japanese experts dispatched to date is shown in ANNEX-III.

Both sides confirmed that the fields of Electricity and Electronics would be covered by one expert after the term of the present Electricity expert expired, and the fields of Welding and Sheet Metal would be covered by one expert after the term of the present expert of Sheet Metal expired. Short-term experts will be dispatched in those fields, if needed.

(2) Counterpart training in Japan

The Japanese side had received a total of fifteen (15) Ugandan counterparts for the training in Japan.

Details of the counterpart training in Japan are shown in ANNEX-IV.

(3) Provision of Machinery and Equipment

The team and the Ugandan side confirmed that the machinery and equipment provided (hereinafter referred to as "the machinery") in Japanese Fiscal Year (hereinafter referred to as "JFY") 1997 had been properly installed, utilized and maintained by the Project. The machinery provided in JFY 1998 is under installation. The machinery provided in JFY 1999 is in the process of procurement.

The list of the machinery provided in JFY 1998-99 is shown in ANNEX- V.

2. Activities and Outputs

With reference to the PDM in ANNEX-I of M/M1, the Team and the Ugandan side reviewed the activities and the outputs of the Project to date.

The progress and the achievements of the Project are as follows ;

2-1. Achievements of Activities in Seven Fields

Most of the activities in seven fields have been made smoothly in general, although there are some difficulties for counterparts, who have not yet gained enough skills, to implement the training courses.

The achievements in seven fields are shown in ANNEX-VI.



2-2. Basic Training Course

Basic training courses in the fields of Machining, Electricity, Welding and Motor Vehicle had started from April, 1998 and have first and second grade trainees at present. Industrial attachments of second grade trainees have been effectively implemented in appropriate industries.

Basic training courses in the fields of Sheet Metal, Electronics and Carpentry had started from May, 1999 and have first grade trainees at present.

The maximum number of trainees had been decided as twenty (20) in



consideration with the machinery and the facilities, because more applicants than expected had been received in most of the fields,.

Details of applicants and enrollments are shown in ANNEX-VII.

2-3. Upgrading Training Course

Upgrading training course had been implemented in every field. But the number of trainees was small in every course except for the field of Motor Vehicle which had received quite a big number of trainees supported by UNICEF. The Project has much more emphasis on basic training courses than upgrading training courses, so the recruitment had not been implemented actively. This is because counterparts have not had enough abilities to implement the upgrading training programmes.

2-4. Apprenticeship Training Course

Recently any vocational training institutes have not implemented apprenticeship training courses, because the industries can not afford to send their workers to the training without financial support from the government. Different from basic and upgrading training courses, the Directorate of Industrial Training, Ministry of Education and Sports (hereinafter referred to as "DIT") is responsible for the recruitment of trainees of apprenticeship training courses.

Both sides confirmed that Nakawa VTI would implement apprenticeship training courses if DIT prepared financial support programme and recruited the trainees.

2-5. Committees for the Project Implementation

The nine(9) committees had been established to assist the smooth management of the Project. Issues are discussed and decisions are made by consensus before implementation. The Ugandan counterparts come to take an active part in the implementation of the project.

To implement the project more efficiently, restructuring of the committees was decided in the JCC.

Actual activities of each committee to date and the new committees are shown in ANNEX-VIII and ANNEX-IX respectively.



2-6. Income Generation Activities

To secure own resources of its operational cost, Nakawa VTI had started what is referred to as "Income Generation Activities", such as to rent conference facilities, to sell products made in training class and so on. The team stated that such attempts as income generation activities were highly evaluated from the point of view of self-independence and sustainability and should be enhanced further after this.

7

II. Revision of Project Design Matrix (PDM)

Both sides agreed in the JCC that some important activities and the explanation concerning apprenticeship training should be added to the original PDM.

The revised version of PDM is shown in ANNEX-X

III. RECOMMENDATIONS

1. Allocation of Necessary Budget and Smooth Disbursement

The shortage of budget allocation has sometimes been an obstacle to smooth implementation of the project. The Japanese side stressed that the Ugandan side should make every effort to secure and disburse necessary budget without delay for the smooth and successful implementation of the Project.

2. Evening Basic Training Courses

As the Ugandan government put emphasis on evening basic training, Nakawa VTI had started evening basic training courses.

The characteristics of evening basic training course are as follows ;

- 1) The training period is for two(2) years.
- 2) The training hours is two(2) hours per day and five(5) days per week.
- 3) Industrial attachment is out of the curriculum.
- 4) Admission is once a year.
- 5) The trainees will be given a certificate of attendance.
- 6) The graduates can sit for the Trade Test and the Uganda Technical Certificate Examination.

Japanese experts had not given technical support directly to evening basic training course, because it had not been mentioned precisely in the master plan. As a result of discussions between the Japanese side and the Ugandan side, both sides confirmed that evening training course should be regarded as the target of technical cooperation, and also that the Japanese experts should give technical support to the counterparts on condition that Japanese experts would only cooperate during daytime and would not attend evening courses.

The Ugandan side stated that the training period would be extended to two and half years for trainees to pass the test.



3. Assignment of the Counterpart Personnel

According to ANNEX-IV of R/D, the assignment of counterpart personnel had been completed except for each one (1) instructor of electronics, machinery, motorvehicle, carpentry and sheet metal section. The team requested the Ugandan side to complete the rest of the assignment of the counterpart personnel. Upon the request, the Ugandan side stated that they were ready to assign the rest of the counterparts as soon as the

7

appropriate persons were found.

The principal and the deputy principal of Nakawa VTI have the acting status. The team requested the Ugandan side to work with Ministry of Public Service on this matter.

4. Securing Trainees

Trainees of basic training course of carpentry are less than the recommended number of M/M1. The team advised that the Project should take some measures for recruitment to inform that Nakawa VTI was well equipped and could give high level training.

5. Plan of Operation for the Rest of the Period

Judging from the progress and the achievements of the Project to date, the original plan of operation needs to be revised for the rest of the period.

The team advised that the plan of operation for the rest of the period should be decided in the appropriate time.

IV. Others

The Ugandan side stated that the opening ceremony of the Project would be held in April, 2000.



7

ANNEX-I

BUDGET ALLOCATION AND EXPENDITURE BY UGANDAN SIDE

Unit : Ush.

		1997/98	1998/99	1999/2000
Revenue	Government Release	148,325,000	270,000,000	420,000,000
	Trainees Contribution	0	105,290,000	49,910,000
	Income Generation	0	36,604,335	44,602,000
	TOTAL	148,325,000	411,894,335	514,512,000
Expenditure	Personnel Expense	0	94,911,300	84,000,000
	Operational Costs	148,325,000	248,957,661	410,500,000
	TOTAL	148,325,000	343,868,961	494,500,000

ANNEX-II

ASSIGNMENT OF COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

SECTION	POSITION	NAME	ASSIGNMENT DATE
Administration	Principal (Ag.)	Mr. A. Tuzinde	Aug-97
	Deputy Principal (Ag.)	Mr. A. Masolo	Aug-97
Pedagogy	Training Manager	Mr. G. Mweisgye	Jan-2000
	Training Coordinator	Mr. Kyahurwa	Jan-2000
	Welfare Officer	Mr. Opoka	Jan-2000
Electronics	Senior Instructor	Mr. F. Omo	May-98
	Instructor	Mr. Awanyi	Jan-97
	Instructor	Mr. P. Edema	May-99
	Instructor		
	Assistant Instructor	Ms.H. Kagezi	Apr-98
	Assistant Instructor	Ms. R. Tumusiime	Nov-98
	Workshop Assitant	Ms. Nakiranda	Jan-2000
Electricity	Senior Instructor	Mr. Sembatya	Jul-1999
	Instructor	Mr. Mbaziira	Apr-98
	Instructor	Mr. Mushabe	Mar-99
	Instructor	Mr. Sempala	Jan-98
	Assistant Instructor	Ms. Karuhanga	Apr-98
	Assistant Instructor	Mr. Mpanga	Oct-98
	Assistant Instructor	Ms. Asiimwe	Jul-99
	Assistant Instructor	Mr. Semakula	Sep-99
	Workshop Technician	Mr. Kyeyune	Apr-98
	Workshop Assitant	Ms. Mukasa	Jan-2000
Machinery	Senior Instructor	Mr. Katongole	May-94
	Instructor	Ms. Bukirwa	May-94
	Instructor	Ms. Kirungi	Apr-98
	Instructor		
	Assistant Instructor	Mr. Kyahurwa	Sep-98
	Assistant Instructor	Mr. Mugombyesa	May-99
	Assistant Instructor	Mr. D. Bulafu	Sep-99
	Workshop Technician	Mr. Kabanda	Apr-98
	Workshop Assitant	Ms. Nambooze	Jan-2000

: required

SECTION	POSITION	NAME	ASSIGNMENT DATE
Mortorvehicle	Senior Instructor	Mr. Olowo	Oct-98
	Instructor	Mr. Kaboobi	Mar-98
	Instructor	Mr. Asiimwe	Mar-98
	Instructor		
	Assistant Instructor	Mr. Mubiru	Apr-97
	Assistant Instructor	Mr. Kulubya	Jun-98
	Assistant Instructor	Mr. Madira	Sep-98
	Assistant Instructor	Mr. Musanje	Dec-99
	Assistant Instructor	Mr. Seguya	Dec-99
	Workshop Technician	Mr. Munyenye	Dec-99
	Workshop Assitant	Ms. Namasaba	Jan-2000
Carpentry	Senior Instructor	Mr. Katumba	Jan-96
	Instructor	Mr. Mugisha	Feb-98
	Instructor	Mr. Senyondo	Jul-99
	Instructor		
	Assistant Instructor	Mr. Nabbaya	Apr-98
	Assistant Instructor	Mr. Nyanga	May-99
	Workshop Technician	Mr. Muwonge	Apr-98
	Workshop Assitant	Ms. Berebera	Jan-2000
Sheetmetal	Senior Instructor	Mr. Muwanga	Apr-98
	Instructor	Mr. Okello	Jan-99
	Instructor	Mr. Kazibwe	May-99
	Instructor		
	Assistant Instructor	Mr. Mafabi	Apr-98
	Assistant Instructor	Mr. Malinga	Oct-99
	Workshop Technician	Mr. Kaweesa	Apr-98
	Workshop Technician	Mr. Kagyenzi	Jul-99
	Workshop Assitant	Ms. Nakazi	Jan-2000
Welding	Senior Instructor	Mr. Namiisi	Jan-99
	Instructor	Mr. Wanyama	Apr-98
	Instructor	Mr. Mayanja	Oct-98
	Instructor	Mr. Bayita	May-99
	Assistant Instructor	Mr. Eliachu	Aug-99
	Assistant Instructor	Mr. Sempala	Jul-99
	Workshop Assitant	Ms. Akello	Jan-2000

: required

ANNEX-III

LIST OF JAPANESE EXPERTS

<LONG-TERM>

	Field	Name	1997	1998	1999	2000	2001	2002
1	Chief Advisor	Mr. Toshiki TAKAMI	6/4			6/3		
2	Coordinator	Mr. Takashi INOUE	6/29		6/28			
3	ditto	Mr. Susumu MAKINO			11/19		11/18	
4	Training Planning	Mr. Toru KAWASHIMA	6/4		9/3			
5	Electronics	Mr. Mitsunori HIRAKAWA	12/27			12/26		
6	Electricity	Mr. Masahiro FUJITA	10/22			3/31		
7	Machining	Mr. Shigekatsu SUZUKI	5/28		5/27			
8	ditto	Mr. Yukio NOZAWA		5/12			5/11	
9	Moter Vehicle	Mr. Katsuo SASAKI	12/27			3/31		
10	Carpentry	Mr. Toshinori HORAI	10/22			10/21		
11	Sheet Metal	Mr. Hirotake IIDA	10/22			10/21		
12	Welding	Mr. Hisao MAKI	10/22			10/21		
13	ditto	Mr. Tetsu GOTO			10/11		10/10	

- 32 -



*Key : 6/4 means Jun. 4th.

<SHORT-TERM>

	Field	Name	1997	1998	1999	2000	2001	2002
1	Training System for Instructors	Mr. Koji UEDA		10/13	3/11			
2	Painting	Mr. Junji KUBOTA			6/23	9/22		
3	Coordinator	Mr. Shinichi KIMURA			7/8	11/30		
4	Training System for Instructors	Mr. Koji UEDA			10/15	2/14		

* Key : 10/13 means Oct. 13th.

ANNEX-IV

COUNTERPART TRAINING IN JAPAN

<Vocational Training Policy>

JFY	Name	Position	Duration
1 99	Mr. LUBANGA Francis Xavier Kiwanuka	Permanent Secretary, Ministry of Education and Sports	99/10/17-10/29

<Vocational Training Management>

JFY	Name	Position	Duration
1 98	Mr. Albino Oteka	Staff, Pedagogy Section	99/1/18-3/14
2 99	Mr. Masolo Sam Jasper	Deputy Principal	99/6/14-8/8

<Electronics>

JFY	Name	Position	Duration
1 98	Ms. Kagezi Harriet	Assistant Instructor	98/9/20-99/3/26
2 99	Mr. Francis Omoo	Instructor	99/4/5-12/19

<Electricity>

JFY	Name	Position	Duration
1 97	Mr. Ssempala Eriyasafu	Senior Instructor	97/9/22-98/3/28
2 99	Mr. Alexander Mpanga	Assistant instructor	99/9/13-2000/3/25

<Machining>

JFY	Name	Position	Duration
1 97	Ms. Harriet Bukirwa	Instructor	97/9/22-98/3/28
2 98	Mr. Kyahurwa P. Natumanya	Instructor	98/9/20-99/3/26

<Motor Vehicle>

JFY	Name	Position	Duration
1 98	Mr. Kaboobi Peter	Instructor	98/9/20-99/3/26

<Carpentry>

JFY	Name	Position	Duration
1 98	Mr. Ham Mugisha	Instructor, Lugogo VTI	98/9/20-99/3/26

<Sheet Metal>

JFY	Name	Position	Duration
1 97	Mr. Fred Godfrey Muwanga	Senior Instructor	97/9/22-98/3/28
2 99	Mr. Peter Mafabi	Assistant instructor	99/9/13-2000/3/25

<Welding>

JFY	Name	Position	Duration
1 97	Mr. Robert Ray Mujurizi	Instructor	97/9/22-98/3/28
2 99	Mr. Ignatius Wanyama	Instructor	99/9/13-2000/3/25

ANNEX-V LIST OF THE MACHINERY / 97-98

Equipment Value Over 1,600,000 J-yen (15,094 Usd)

(1J-yen=106Usd)

JFY	NAME OF THE EQUIPMENT	VAL. (¥)	VAL. (USD)	QTY.
Electricity				
'98	Csequence Control System Training (KENTTAC22)	2,220,000	20,943	1
Machinery				
'98	Surface Graining Machine (KURODA GS-63Z)	6,800,000	64,151	1
'98	Slotter Machine (NAKABOU NSP-110)	3,500,000	33,019	1
Automobile Maintenance				
'98	Distributor Test Bench (OKUDA DS-747)	1,720,000	16,226	1
'98	Fuel Injection Pump Tester (MERLIN MM875/3)	20,920,000	197,358	1
Carpentry				
'97	Single Surface Planer (KIKUKAWA KU-H500D)	2,500,000	23,585	1
'97	Wood Lather (FUJIKYU FT-18)	2,300,000	21,698	1
'97	Carbide-Tipped Tool Grinder (SHODA SG-113A)	1,800,000	16,981	1
'97	End Tenoning Machine (KIKUKAWA KT-334E)	1,800,000	16,981	1
'97	Rip Saw (KIKUKAWA RP-12)	3,440,000	32,453	1
'98	Multi-Spindle Borer (TOYO SB-600D)	2,650,000	25,000	1
'98	Wood Press (TAKAGI F16-20)	3,600,000	33,962	1
'98	Panel Saw (SHINKO SZ3-8000)	3,100,000	29,245	1
Sheet Metal				
'97	Corner Shear (AMADA-CSW-250)	1,630,000	15,377	1
'97	Square Shear (NOGUCHI-NS-1506)	3,200,000	30,189	1
'97	Press Brake (AMADA-RG-50)	3,490,000	32,925	1
'97	Folding Machine (NOGUCHI-H800)	2,300,000	21,698	1
'98	Set Press (AMADA-SP30 II -SS104 I V)	6,600,000	62,264	1
'98	Universal Pipe Bending Machine (DAIDO-C203HV)	2,600,000	24,528	1
Welding				
'98	Weld Joint Beveller (FUKOKU)	3,250,000	30,660	1
'98	Auto Metal Cutter (KOUWA)	2,650,000	25,000	1
Mutual Equipment				
'97	Vehicle (Mitsubishi-L-400)	3,640,000	34,340	1

ANNEX-V LIST OF THE MACHINERY / 97-98

Equipment Value 100,000-1,600,000 J-yen (943-15,094 Usd) (1¥=106\$)

JFY	NAME OF THE EQUIPMENT	QTY	DISPOSAL
Electronics			
'97	Computer (Compaq Desktop 2000)	13	0
'97	Printer (HP Lasejet 6p)	4	0
'97	Amprifier	1	0
'97	Oscilloscope (Kenwood,CS-5355)	4	0
'97	Oscilloscope (Kenwood,CS-5355)	4	0
'97	Regulated DC Power Supply (Kenwood,PS36-10)	4	0
'97	Slide Rheostat (Yokokawa,2791-01)	2	0
'97	Slide Rheostat (Yokokawa,2791-02)	2	0
'97	Slide Rheostat (Yokokawa,2791-03)	2	0
'97	Slide Rheostat (Yokokawa,2791-08)	2	0
'97	Slide Rheostat (Yokokawa,2791-10)	2	0
'97	Slide Rheostat (Yokokawa,2791-12)	2	0
'97	Pattern Generator (Leader,LT-415PS)	2	0
'97	Signal Level Meter (Leader 953)	2	0
'97	Sweep Generator (Leader LSW-251)	2	0
'97	Standard Signal Generator (Kenwood,SG-7130)	1	0
'97	Universal Bridge (Yamabishi,YHBR-2B)	2	0
'97	Distortion Meter (Leader,LDM-171)	2	0
'97	Circuit Trainer (Simadzu,YD-10)	2	0
'97	AD-DA Converter Training Apparatus (Simadzu,ADH-105)	2	0
'97	Semiconductor Element Experiment Apparatus (Simadzu,KSC-3N)	2	0
'98	Pulse Generator (Hyulet Packard,HP-8110A)	1	0
'98	Output Module (Hyulet Packard,HP-81103A)	1	0
'98	Color TV Training System (ET-TV3)	1	0
'98	Basis Etching Set (Sun Hayato Z-920)	1	0
'98	Light Box (Sun Hayato Box-W-10)	1	0
'98	Mini Drilling Machine (Sun Hayato)	1	0
Electricity			
'97	Condence Unit (Takagi Reiki TWX-220L)	1	0
'98	Generator (Denyo GA-2300)	2	0
'98	DC Power Supply (PAN160-3.5A)	5	0
'98	Regulated Power Supply (Kenwood,PS36-10)	1	0
'98	Digital Storage Oscilloscope (Kenwood CS-4125)	1	0

'98	Lap Top Computer (Toshiba 330CDS)	2	0
'98	Sequence System T.B (Fuji)	15	0
'98	Battery Charger (Nissan BS6565)	1	0
'98	Winding Machine (SD-110N)	3	0
'98	Air Conditioner (Carrier 30VA7018)	1	0
Machinery			
'97	Computer	1	0
Automobile Maintenance			
'98	Diesel Injection Pump Tool Set (Banzai DT-105A)	3	0
'98	Connecting Rod Aligner (Banzai MA-5E,MA-5B)	2	0
'98	Micrometer Set (Nissan Altia GG9210)	3	0
'98	Practice Car (Carola,Datsun,Highace)	3	0
Carpentry			
'97	Hand-Feed Surface Plane (Kikukawa KP-300LDX)	1	0
'97	Cross Cut Circular Saw (Eiwa AT-GD-16)	1	0
'97	Band Saw (Johshin JBS-650-G)	1	0
'97	Router (Syoda RO-116)	1	0
'97	Dovetailing Machine (Syoda DV-121)	1	0
'97	Corner Locking Machine (Syoda CL-132)	1	0
'97	Grinder (Hitachi GR31)	1	0
'97	Scroll Saw (Asahikoki 1300)	1	0
'97	Universal Sander (Hasegawa HUS-1200)	1	0
'97	Band Saw Setting Machine (Tokai TN-3)	1	0
'97	Saw Setting Machine (Tokai TN-4)	1	0
'97	Wood Moisture Meter (Kett HM-520)	2	0
'97	Portable Belt Sander	2	0
'97	Electrical Portable Chain-Saw	2	0
'97	Vacume Cleaner	4	0
'97	Air Compressor System	1	0
'98	Circular Saw (Eiwa UTA-16)	1	0
'98	Table Saw (Eiwa AEER-16)	1	0
'98	Knife Grinder (Marunaka GLE640m)	1	0
'98	Spindle Shaper (Syoda SM-123)	1	0
'98	Saw Grinder (Tokai TN-2)	1	0
'98	Dowel Machine	1	0
'98	Dowel Cut Machine	1	0

7

'98	Pallet Fork Lift Jacks	1	0
-----	------------------------	---	---

Sheet Metal			
'97	Lap Top Computer (AST)	1	0
'97	Spot Welding Machine (Daido)	1	0
'97	Hand Chearing Machine (Yoshimitsu 50)	1	0
'97	Foot Shear (Yoshimitsu 2-1000mm)	1	0
'97	Auto Backgauge for Press Brake (Amada)	1	0
'97	Photo-Electric Press Safety Device (Amada)	1	0
'97	Setting Roll (Yoshimitsu)	1	0
'97	Double Head Grinder (Showa SGF-CFX4)	1	0
'97	Bending Roll (Noguchi 13M3)	1	0
'97	Pipe Bender (Taiyo Engineering)	1	0
'97	Hand Drilling Machine (Hitachi LUH7)	2	0
'97	Hand Drilling Machine (Hitachi BUL-SH3)	2	0
'97	Disc Grinder (Hitachi PDA-100D)	7	0
'97	Bench Drill Press (Hitachi B13S)	1	0
'97	Power Lifer (Kanto 500S)	1	0
'98	High Speed Cutting Machine (Hitachi CC16SB)	1	0
'98	Pallet Track (Sugiyasu BM10SS-L40)	1	0
'98	Pallet Track (Sugiyasu BM30LL)	1	0
'98	Tool Set (KTC Mk81)	3	0
'98	3 Stretch Punch Holder (Amada)	5	0
'98	Special Type Punch & Ore Set	1	0
'98	Figure Punch A (Amada)	1	0
'98	Figure Punch B (Amada)	1	0
'98	Vibrating Shearing Machine (Horita HM-5)	1	0
'98	Contour Machine (Kiyota KY-300)	1	0
'98	Universal Pipe Bending Machine (DAIDO-C203HV)	1	0
'98	Belt Grinder (Yodogawa TS-3N)	2	0
Welding			
'97	CO2 Gas-Shield Arc Welder (Daihen)	1	0
'98	TIG Welder (Daihen)	2	0
'98	Water-Hydraulic Pump (Yamamoto)	1	0
'98	Spark Test Booth (Yamamoto)	1	0
'98	CO2 Gas-Shield Arc Welder (Daihen)	2	0
Mutual Equipment			

'97	Photo-Copy Machine (Mita DC-3060)	1	0
'97	Facsimile Machine (Mita TC-710)	1	0



ACHIEVEMENTS OF THE ACTIVITIES IN SEVEN FIELDS

1. ELECTRONICS

ACTIVITIES ON THE R/D	ACHIEVEMENTS	REMARKS
1-1 To secure Ugandan counterpart personnel necessary for implementing vocational training	1-1 Senior Instructor (1), Instructor (2), Asst. Instructor (2)	1-1 Vacancy : Instructor (1)
1-2 To select and install machinery and equipment suitable for vocational training	1-2-1 Excellent (Select) 1-2-2 Good (Install)	
1-3 To maintain machinery and equipment for vocational training properly	1-3 Excellent	
2-1 To evaluate and to upgrade the level of teaching methods in the seven fields	2-1 Fair	
2-2 To introduce practice by utilizing machinery and equipment	2-2 Good	
2-3 To make teaching and learning materials for vocational training	2-3 Good	
3-1 To investigate the needs of industries & to decide the contents of training courses	3-1 Fair	
3-2 To develop and revise curricula & syllabi	3-2 First proposal was made but is being revised.	
3-3 To make and select teaching and learning materials for vocational training	3-3 Not enough	
3-4 To recruit trainees	3-4 Basic : Excellent Upgrading : Not enough	
3-5 To select companies suitable for industrial attachment	3-5 Not yet	
3-6 To conduct training course evaluation	3-6 Not yet	

*Remarks : Excellent(100-80%), Good(79-60%), Fair(59-40%), Not enough(less than 39%), 100% is final achievement.

2.ELECTRICITY

ACTIVITIES ON THE R/D	ACHIEVEMENTS	REMARKS
1-1 To secure Ugandan counterpart personnel necessary for implementing vocational training 1-2 To select and install machinery and equipment suitable for vocational training 1-3 To maintain machinery and equipment for vocational training properly	1-1 Senior Instructor (1), Instructor (3), Asst. Instructor (4) 1-2-1 Excellent (Select) 1-2-2 Good (Install) 1-3 Excellent	
2-1 To evaluate and to upgrade the level of teaching methods in the seven fields 2-2 To introduce practice by utilizing machinery and equipment 2-3 To make teaching and learning materials for vocational training	2-1 Fair 2-2 Good 2-3 Not enough	
3-1 To investigate the needs of industries & to decide the contents of training courses 3-2 To develop and revise curricula & syllabi 3-3 To make and select teaching and learning materials for vocational training 3-4 To recruit trainees 3-5 To select companies suitable for industrial attachment 3-6 To conduct training course evaluation	3-1 Fair 3-2 First proposal was made but is being revised. 3-3 Not enough 3-4 Basic : Excellent Upgrading : Not enough 3-5 Excellent 3-6 Not yet	

* Remarks : Excellent(100-80%), Good(79-60%), Fair(59-40%), Not enough(less than 39%), 100% is final achievement.

3.MACHINERY

ACTIVITIES ON THE R/D	ACHIEVEMENTS	REMARKS
1-1 To secure Ugandan counterpart personnel necessary for implementing vocational training 1-2 To select and install machinery and equipment suitable for vocational training 1-3 To maintain machinery and equipment for vocational training properly	1-1 Senior Instructor (1), Instructor (2), Asst. Instructor (3) 1-2-1 Excellent (Select) 1-2-2 Good (Install) 1-3 Excellent	1-1 Vacancy : Instructor (1)
2-1 To evaluate and to upgrade the level of teaching methods in the seven fields 2-2 To introduce practice by utilizing machinery and equipment 2-3 To make teaching and learning materials for vocational training	2-1 Good 2-2 Good 2-3 Not enough	
3-1 To investigate the needs of industries & to decide the contents of training courses 3-2 To develop and revise curricula & syllabi 3-3 To make and select teaching and learning materials for vocational training 3-4 To recruit trainees 3-5 To select companies suitable for industrial attachment 3-6 To conduct training course evaluation	3-1 Fair 3-2 First proposal was made but is being revised. 3-3 Not enough 3-4 Basic : Excellent Upgrading : Not enough 3-5 Excellent 3-6 Not yet	

*Remarks : Excellent(100-80%), Good(79-60%), Fair(59-40%), Not enough(less than 39%), 100% is final achievement.

7

4.MOTOR VEHICLE

ACTIVITIES ON THE R/D	ACHIEVEMENTS	REMARKS
1-1 To secure Ugandan counterpart personnel necessary for implementing vocational training 1-2 To select and install machinery and equipment suitable for vocational training 1-3 To maintain machinery and equipment for vocational training properly	1-1 Senior Instructor (1), Instructor (2), Asst. Instructor (5) 1-2-1 Excellent (Select) 1-2-2 Good (Install) 1-3 Excellent	1-1 Vacancy : Instructor (1)
2-1 To evaluate and to upgrade the level of teaching methods in the seven fields 2-2 To introduce practice by utilizing machinery and equipment 2-3 To make teaching and learning materials for vocational training	2-1 Fair 2-2 Good 2-3 Not enough	
3-1 To investigate the needs of industries & to decide the contents of training courses 3-2 To develop and revise curricula & syllabi 3-3 To make and select teaching and learning materials for vocational training 3-4 To recruit trainees 3-5 To select companies suitable for industrial attachment 3-6 To conduct training course evaluation	3-1 Fair 3-2 First proposal was made but is being revised. 3-3 Not enough 3-4 Basic : Excellent Upgrading : Fair 3-5 Excellent 3-6 Not yet	

* Remarks : Excellent(100-80%), Good(79-60%), Fair(59-40%), Not enough(less than 39%), 100% is final achievement.

5. CARPENTRY

ACTIVITIES ON THE R/D	ACHIEVEMENTS	REMARKS
1-1 To secure Ugandan counterpart personnel necessary for implementing vocational training 1-2 To select and install machinery and equipment suitable for vocational training 1-3 To maintain machinery and equipment for vocational training properly	1-1 Senior Instructor (1), Instructor (2), Asst. Instructor (2) 1-2-1 Excellent (Select) 1-2-2 Good (Install) 1-3 Excellent	1-1 Vacancy : Instructor (1)
2-1 To evaluate and to upgrade the level of teaching methods in the seven fields 2-2 To introduce practice by utilizing machinery and equipment 2-3 To make teaching and learning materials for vocational training	2-1 Not enough 2-2 Good 2-3 Not enough	
3-1 To investigate the needs of industries & to decide the contents of training courses 3-2 To develop and revise curricula & syllabi 3-3 To make and select teaching and learning materials for vocational training 3-4 To recruit trainees 3-5 To select companies suitable for industrial attachment 3-6 To conduct training course evaluation	3-1 Fair 3-2 First proposal was made but is being revised. 3-3 Not enough 3-4 Basic : Fair Upgrading : Not enough 3-5 Not yet 3-6 Not yet	

* Remarks : Excellent(100-80%), Good(79-60%), Fair(59-40%), Not enough(less than 39%), 100% is final achievement.

V

6.SHEET METAL

ACTIVITIES ON THE R/D	ACHIEVEMENTS	REMARKS
1-1 To secure Ugandan counterpart personnel necessary for implementing vocational training 1-2 To select and install machinery and equipment suitable for vocational training 1-3 To maintain machinery and equipment for vocational training properly	1-1 Senior Instructor (1), Instructor (2), Asst. Instructor (2) 1-2-1 Excellent (Select) 1-2-2 Fair (Install) 1-3 Excellent	Vacancy : Instructor (1)
2-1 To evaluate and to upgrade the level of teaching methods in the seven fields 2-2 To introduce practice by utilizing machinery and equipment 2-3 To make teaching and learning materials for vocational training	2-1 Not enough 2-2 Good 2-3 Not enough	
3-1 To investigate the needs of industries & to decide the contents of training courses 3-2 To develop and revise curricula & syllabi 3-3 To make and select teaching and learning materials for vocational training 3-4 To recruit trainees 3-5 To select companies suitable for industrial attachment 3-6 To conduct training course evaluation	3-1 Fair 3-2 First proposal was made but is being revised. 3-3 Not enough 3-4 Basic : Excellent Upgrading : Not enough 3-5 Not yet 3-6 Not yet	

* Remarks : Excellent(100-80%), Good(79-60%), Fair(59-40%), Not enough(less than 39%), 100% is final achievement.

7. WELDING

ACTIVITIES ON THE R/D	ACHIEVEMENTS	REMARKS
1-1 To secure Ugandan counterpart personnel necessary for implementing vocational training 1-2 To select and install machinery and equipment suitable for vocational training 1-3 To maintain machinery and equipment for vocational training properly	1-1 Senior Instructor (1), Instructor (3), Asst. Instructor (2) 1-2-1 Excellent (Select) 1-2-2 Good (Install) 1-3 Excellent	
2-1 To evaluate and to upgrade the level of teaching methods in the seven fields 2-2 To introduce practice by utilizing machinery and equipment 2-3 To make teaching and learning materials for vocational training	2-1 Fair 2-2 Good 2-3 Not enough	
3-1 To investigate the needs of industries & to decide the contents of training courses 3-2 To develop and revise curricula & syllabi 3-3 To make and select teaching and learning materials for vocational training 3-4 To recruit trainees 3-5 To select companies suitable for industrial attachment 3-6 To conduct training course evaluation	3-1 Fair 3-2 First proposal was made but is being revised. 3-3 Not enough 3-4 Basic : Excellent Upgrading : Not enough 3-5 Excellent 3-6 Not yet	

* Remarks : Excellent(100-80%), Good(79-60%), Fair(59-40%), Not enough(less than 39%), 100% is final achievement.

ANNEX-VII

STUDENT ENROLLMENT AND PRESENT CAPACITY PER SECTION PER TRAINING PROGRAMME FOR THE YEARS 1998 & 1999.

ITEM NO.	SECTION	PERIOD		APRIL, 1998		APRIL, 1999		October, 1999		APRIL, 1998		APRIL, 1999		Total No. 1998/99		Total No. 1998/99									
		TRAINING PROGRAMME		Basic Training Year 1		Basic Training Year 1		Basic Training Year 2		Basic Training Year 1 evening class		Basic Training Year 1 evening class		Upgrading Training		Apprenticeship Training									
		RECRUITMENT		Applic	Enroll	Applic	Enroll	Current Class Capacity		Applic	Enroll	Applic	Enroll	Applic	Enroll	Applic	Enroll								
		Bo	Gi	Bo	Gi	Bo	Gi	Boys	Girls	Bo	Gi	Bo	Gi	Bo	Gi	Bo	Gi								
1	ELECTRONICS	NIL	NIL	58	11	15	3	NIL	NIL	NIL	NIL	36	2	31	2	4	0	4	0	NIL	NIL				
2	ELECTRICITY	27	4	15	5	55	6	13	5	16	3	16	2	14	2	39	37	0	11	0	11	0	NIL	NIL	
3	MACHINING	24	1	19	1	36	5	14	4	18	0	16	0	10	0	21	0	19	0	9	0	9	0	NIL	NIL
4	MOTOR VEHICLE	42	1	20	1	61	0	20	0	20	1	16	0	12	0	35	0	28	0	97	0	97	0	NIL	NIL
5	WOODWORKING	NIL	NIL	9	0	8	0	NIL	NIL	NIL	NIL	1	0	0	0	4	0	4	0	NIL	NIL	NIL	NIL		
6	SHEETMETAL	NIL	NIL	20	0	17	0	NIL	NIL	NIL	NIL	6	0	6	0	9	0	9	0	NIL	NIL	NIL	NIL		
7	WELDING	22	0	18	0	22	0	19	0	16	0	NIL	NIL	6	0	6	0	1	0	1	0	NIL	NIL		
TOTAL		115	6	72	7	261	22	106	12	70	4	48	2	36	2	144	2	127	2	135	0	135	0		

N.B

Applic- Applications
Bo - Boys

Enroll- Enrollment
Gi - Girls

ACHIEVEMENTS OF THE COMMITTEES

Name	Achievements
1. Administration Committee	1) Names of sections and training courses had been decided. 2) Standards of recruitment application form, procedure, and admission of trainees had been decided. 3) The interview format had been made. 4) The students' identity cards had been designed. 5) Fees structure had been arranged. 6) Students protective clothing in workshops and their respective colors had been decided. 7) Time management by staff and trainees has been enforced. 8) Nakawa VTI organizational chart had been prepared. 9) The manual for developing training programs had been made. 10) Procedure of using the drawing room, its equipment and tools had been made. 11) Assistance for budget allocation has been established. 12) Staff assignment and occupational qualification had been decided.
2. Training Management Committee	1) Log book for use in computer room had been prepared. 2) Application and registration forms for upgrading training course had been prepared. 3) Certificate design and endorsement of upgrading training course had been decided. 4) Trainees Dairy had been prepared.





Name	Name
3. Trainee Guidance Committee	1) Rules and regulations for trainees of borders and non boarders have been put in place. 2) Two (2) successful student guild elections had been organized. 3) External interaction with other Institutions' student bodies has been organized in collaboration with trainees' councils. 4) Student extra curricula activities have been organized with the welfare officer. 5) All trainees' social and cultural activities had been coordinated.
4. Safety and Industrial Hygiene Committee	1) Responsibility of ensuring safety and hygiene had been assumed. 2) Form of accidents record had been established 3) Planting of trees and flowers and compound cleanliness had been implemented. 4) Fire extinguishers at strategic locations had been installed. 5) Safety sign boards had been placed in workshops and surroundings. 6) Placement of orders for supply of safety shoes and overalls used by trainees as safety wear had been decided. 7) Safety and sanitation check list had been established. 8) Awareness of internationally recognized safety and health symbols had been improved.
5. Machinery and Equipmtne Committee	1) Equipment inventory sheet had been prepared. 2) Remark of package and testworking of machines and equipment sheet had been prepared. 3) The proper installation, test running and inspection of machinery and equipment had been implemented. 4) Stores requisition form had been prepared.

Name	Achievements
(5. Machinery and Equipment Committee)	5) Application form for purchase had been prepared. 6) Material plan form had been prepared. 7) General ledger kept by general store keeper had been prepared. 8) Working flow chart which includes a) receive/purchase of equipment, b) daily work (storekeeper), c) stock taking 3 times a year, d) take the counter measure, had been prepared. 9) Equipment check sheet had been designed. 10) Sheet of book list had been designed. 11) Sheet of equipment list had been prepared. 12) Sheet of storing condition/lost damaged report had been prepared.
6. Curriculum & Syllabi committee	1) The semester training time table for basic training courses had been made. 2) Training syllabi/curriculum for all seven fields had been arranged. 3) Total training hours for theory, practice and Industrial attachment in 7 fields had been categorized. 4) Training time table had been made. 5) Industrial visits to carry out the training needs assessment had been planned. 6) Annual training calendar had been prepared. 7) Instructors' skills of curriculum making and analysis of syllabus had been improved In coordination with pedagogy method.
7. Education & Training Committee	1) General enrollment of trainees in every section had been decided. 2) Training plan had been prepared. 3) System of training evaluation had been prepared.



2

Name	Achievements
(7. Education & Training Committee)	4) Attendance sheet had been made. 5) Trainees roll book had been made. 6) Trainee study record ledger had been made. 7) Trainee guidance book had been made. 8) Registration form had been made. 9) Forms of lesson and training plan had been made. 10) Course assessment form for upgraders had been made. 11) Progressive reports of basic training and upgrading training had been decided. 12) Flow chart of the trainee management had been decided. 13) Instructional sheets/materials had been prepared. 14) Semester exam papers and follow up of weak trainees had been standardized. 15) 10 training sets (4 sets and 6sets) had been prepared..
8. Outside Activities Committee	1) The sign boards had been design and installed. 2) Training programs had been advertised thorough mass media. 3) Industrial visits had been implemented to make training needs assessment. 4) Visits to other institutes to make comparative analysis of training needs had been organized. 5) Nakawa VTI' image had been promoted by participation in UMA and so on. 6) Official opening ceremony had been prepared.
9. Production Promotion Committee	1) Regulations of income generation activities had been made. 2) Quarterly reports of income generation activities in every section had been introduced.



ANNEX-IX

NAME AND CONTENT OF THE COMMITTEE

Committee	Formats to be fixed, committee activity, relations with PROTS, reference materials.
I. Institute Management Committee.	<ul style="list-style-type: none"> ● Production of annual plan ● Production of diagram of the whole system of institute. <p>Organisation chart</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Production of diagram of staff placement. <p>(1) Training Revision (2) Administration Revision</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Production of restructure plan e.g. Typist, Printing assistant, Receptionist to Office clerk <p>F. Seminar for method of training management. (Pedagogy Section in response)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Principal/deputy principal/head of the field/senior instructor/instructor/assistant instructor/technician/nursing aid Typist/askari/nightwatchman/waitress/peeler/cleaner/cook/plumber/gardener/hostel attendant/workshop assistant/printing assistant/telephonist/receptionist/office messenger/head cook/cook and nursing officer. ● Seminar for budget control (short term Expert and pedagogy in response) ● Installation of budget control computer system. ● Diagrams of annual budget/annual income/monthly income/ annual expenses/details of monthly income expenses. ● A list of expenses for annual training in each section ● List of expenses for monthly training in each section. ● List of annual income generation activity (expense/income) in each section ● List of monthly income generation activity (expense/income) in each section. ● List of accumulated income per annum. ● Set up of selection system for trainees. ● Inspection of content of training in the institute and country. ● Seminar for developing training programme. ● Seminar for methodology of teaching training (short-term expert, pedagogy training in response) <p>C1: Basic for teaching and training C2: Developing lectures C3: Basics for developing practice C4: Developing practice of sensory motor system skills TWY C5: Developing practice of intellectual control system skills</p>



	<p>Seminar: according to the needs</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Set up of committee system. ● Set up of committee monitoring system. ● Attendance of instructors, assistant instructors in committee. ● Development, revision, execution of income generation. ● Set up of seminar, show room for income generation.
2. Trainee Management Committee	<ul style="list-style-type: none"> ● Manual for basic trainee recruitment selection and implementation. ● Production of plan for basic trainee recruitment, section/implementation. ● Production of news letter of Up-grading course in each field (PR purpose) ● Establishment of rules/regulations of institute/dormitory, improvement and practice. ● Implementation of meeting on punishment for trainees ● Policy making of standard of evaluation for pass marks, graduation, and carry-out of Evaluation Meeting. ● E-1: Guidance based on understanding of trainees' behavior. ● E-2: Developing for guidance. ● Seminar for guidance (short-term expert/pedagogy in response)
3. Safety/hygiene Committee	<ul style="list-style-type: none"> ● Improvement and establishment of standard of safety/hygiene. ● Establishment of selection of safety and hygiene promotion staff, and its work. ● Regular inspection list/record. ● Safety and hygiene inspection list/record. ● List/record of accident analysis ● List/record of measurement of operation environment. ● Production of safety/hygiene text books in each field. ● Set up of safety/hygiene committee for trainees. ● Hold seminar for safety/hygiene.
4. Training machinery/equipment management Committee	<ul style="list-style-type: none"> ● Improvement and policy making of standard for installation of training materials/equipment. ● Improvement and policymaking of system of machinery/equipment Installation monitoring. <p>F4: Seminar for management of training machinery/equipment etc.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Book for record of training machinery/equipment service. ● Book for equipment maintenance record. ● Procurement of supplies, maintenance, remodeling invoice.

	<ul style="list-style-type: none"> ● Machinery maintenance, list of condition of remodeling, list of plan for materials. ● List of calculation of expenditure on materials/ expenses. ● List/report on consumables etc. ● Policy making of set up of library and regulation of its management.
5. Training Promotion Committee	<p>B1: Seminar for identifying training needs and drawing up of course.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Production, revision and practice of 3 training set. ● Production, revision, practice of syllabus/curriculum. ● Production, revision, practice of target of training. ● List of plan for annual training, weekly planning, material planning. ● Usage of class room planning. ● Time table for subject, and training hours. ● Production, revision, practice of 4 training set. ● A: Instruction skills/technical instructor's role. ● F: Record of trainees management attendance record, assistant attendance record. ● Seminar for evaluation of trainees. <p>B3: Developing training evaluation, set up of trainees standard pass mark.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Production of manual for promotion for industrial attachment. ● Promotion of industrial training and establishment of evaluation.
6. Out-side activity Committee	<ul style="list-style-type: none"> ● Production of PR promotion annual plan. ● Production plan of annual meeting with federation of employers. ● Production of annual plan of approach to prospective industries ● Production of annual of job matching.

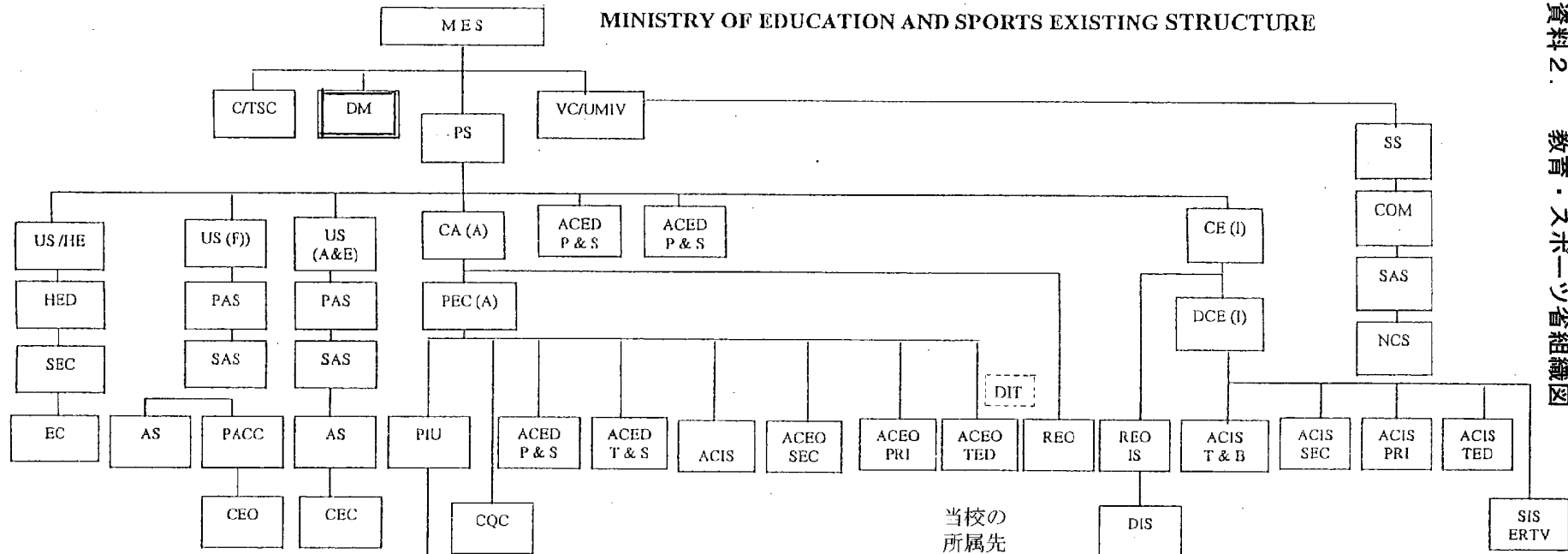


PROJECT DESIGN MATRIX (REVISED VERSION)

NARRATIVE SUMMARY	VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
(Overall Goal) Demands for skilled craftsmen/women needed by industries are satisfied	1. Employment by industrial sectors	1. Manpower survey	
(Project Purpose) Skilled craftsmen/women needed by industries is fostered through the basic, upgrading and apprenticeship training courses in the seven fields(machining, electricity, welding, sheet metal, motor vehicle, electronic, carpentry).	1. a Number of applicants to the institute. 1. b Trainees' performance 1. c Competency of graduates of the Institute 1. d Number of graduates of the Institute 1. e Level of graduate employment	1. a Data of the Institute 1. b Continuous assessment and examination in the Institute 1. c Assessment and certification by DIT 1. d Data of the Institute 1. e Tracer study	<ul style="list-style-type: none"> · <u>Ministry of Education and Sports</u> continues the policy to strengthen vocational training. · Finance for continued support of this project · Industrial sector can employ the number of trainees that will be trained.
(Output) 1. Necessary facilities, equipment and personnel are set up in the seven fields. 2. The ability of Ugandan counterparts in the seven fields is upgraded. 3. The contents of the basic(<u>day-time and evening class</u>) and upgrading seven fields are fixed and training is implemented properly. <u>Apprenticeship training is implemented properly upon the request by DIT.</u>	1. a Number of counterpart personnel and administrative personnel 1. b Installation of equipment 1. c Utilization of equipment 2. Ability of counterparts to use the equipment for delivering the curriculum 3. Performance of training course implementation	1. a Data of the Institute 1. b Project report 1. c Operation record of equipment 2. Achievement check list of instructors by the Japanese experts 3. Project report	<ul style="list-style-type: none"> · There is a sufficient number of trainees, especially in basic training course to guarantee the operation cost of the Institute. · Curriculum that is relevant to the needs of industry.



<p>(Activities)</p> <p>(1-1) To secure Ugandan counterpart personnel necessary for implementing vocational training.</p> <p><u>(1-2) To establish the management system of the Institute.</u></p> <p><u>(1-3) To implement the income generation activities.</u></p> <p><u>(1-4) To run the Institute by the Committees</u></p> <p><u>(1-5) To select and install machinery and equipment suitable for vocational training.</u></p> <p><u>(1-6) To maintain machinery and equipment for vocational training properly.</u></p> <p>(2-1) To evaluate and to upgrade the level of teaching methods in the seven fields.</p> <p>(2-2) To introduce practice by utilizing machinery and equipment.</p> <p>(2-3) To make teaching and learning materials for vocational training.</p> <p>(3-1) To investigate the needs of industries and to decide the contents of training courses.</p> <p>(3-2) To develop and revise curricula and syllabi.</p> <p>(3-3) To make and select teaching and learning materials for vocational training.</p> <p>(3-4) To recruit trainees.</p> <p>(3-5) To select companies suitable for industrial attachment.</p> <p>(3-6) To conduct training course evaluation.</p>	<p>INPUTS</p> <p>1. Ugandan side :</p> <p>(1) The land for the Institute</p> <p>(2) Assignment of Ugandan full-time counterpart personnel</p> <p>(3) Assignment of administrative personnel</p> <p>(4) Expenses necessary for the implementation of the Project</p> <p>2. Japanese side</p> <p>(1) Dispatch of long-term experts.</p> <p>(2) Short-term experts, when necessary.</p> <p>(3) Training of Ugandan counterpart personnel in Japan</p> <p>(4) Provision of equipment</p>	<p>· The Ugandan counterparts remain in the Institute.</p> <p>(Pre-conditions)</p> <p>· The Ugandan Government provides financial support for the Institute.</p> <p>· Employment of necessary number of counterparts and other staff.</p>
---	--	---



当校の
所属先

DIS

SIS
ERTV

Abbreviation

MES: Ministry of Education and Sports
 DM: Deputy Minister
 C/TSC: Chairman Teaching Service Commission
 VC/UNI: Vice Chancellor University
 PS: Permanent Secretary
 SS: Secretary of Sports
 COM: Commissioner
 ERTV: Education, Radio and Television

 US/PAS: Under Secretary/ Principal Assistant Secretary
 SAS/AS: Senior Assistant Secretary/ Assistant Secretary

Abbreviation

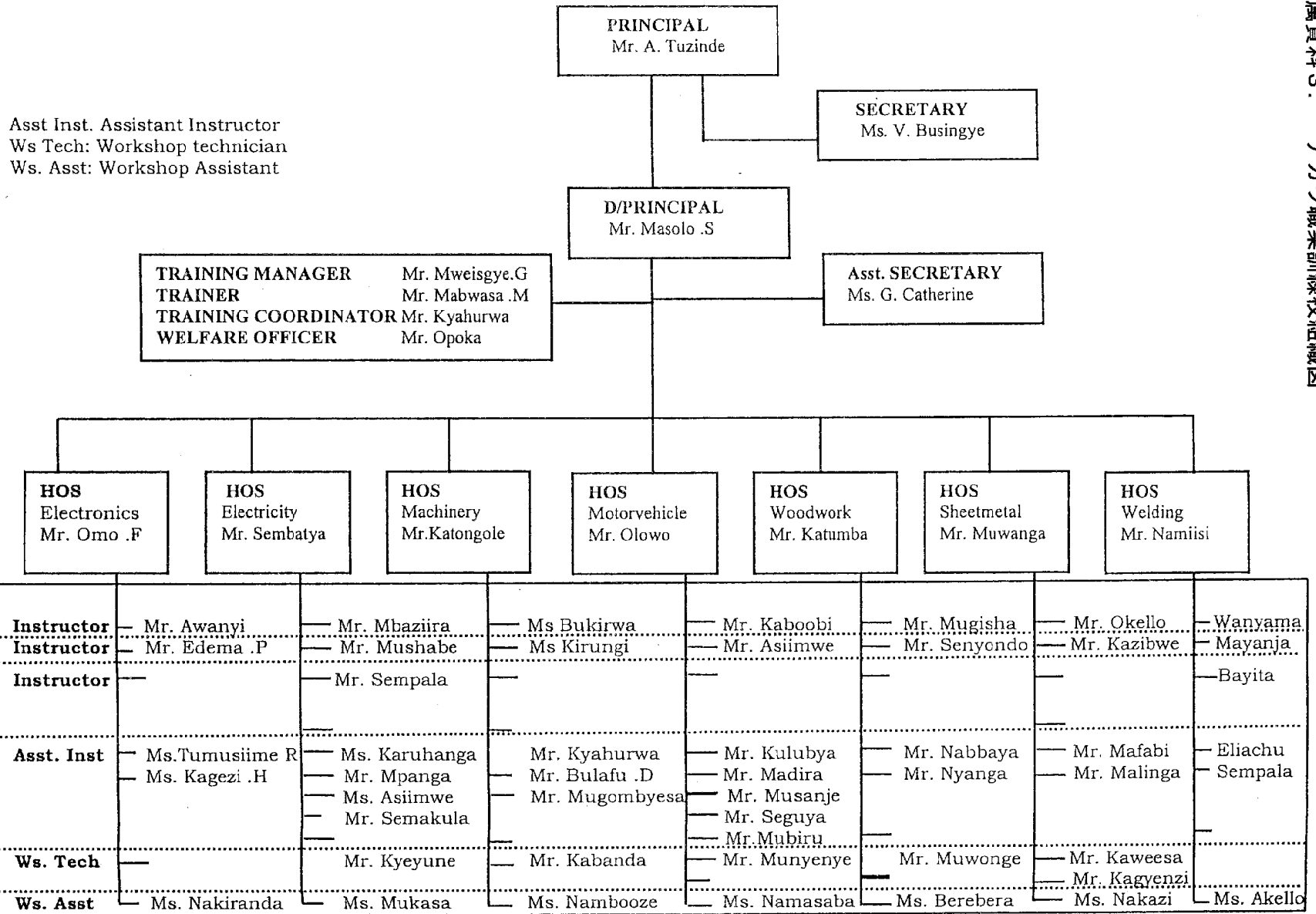
H/E/F: Higher Education Finance
 D/N/CDC: Director/National Curriculum Development Council
 TED: Technical Education
 C/W: Clerk of Works
 SIS: Senior Inspector of Schools
 ACIS: Assistant Commissioner Inspector of Schools
 PACC: Principal Accountant
 PIU: Project Implementation Unit
 DCE (A): Dep. Comm. (Adm.)
 ACED: Assistant Commissioner Education Officer
 A & E: Administration and Establishment
 P & S: Planning and Statistics

Abbreviation

DEO/RED: district Ed. Officer/ Regional Ed. Officer
 CEO: Chief Executive Officer
 T & B/Sec/ PRI: technical & Business /Secondary /Primary
 CQC: Career Quidance and counseling
 NCS: National Council of Sports
 SE & O: Senior Executive Officer
 HEO: Higher Executive Officer
 CE (A): Commissioner Administration
 CE (I): Commissioner Inspectorate
 CE (E): Commissioner education

Assistant Commissioner Education Office
 Business, Technical and Vocational Education

NAKAWA VTI ORGANISATION CHART (Training Division)



付属資料 4. 向上訓練実績表

向上訓練実績表

電子科

年月日	コース名	受講者数	期間	備考
99.2.15~3.12	ラジオ・TV・電子機器の修理技法と保全	1	4W	主にTVの基礎と修理技法
99.3.15~4.9	ラジオ・TV・電子機器の修理技法と保全	2	4W	主にTVの基礎と修理技法
99.11.15~12.10	ラジオ・TV・電子機器の修理技法と保全	1	4W	主にラジオ・TVの基礎と修理技法
	合計	4名		

電気科

年月日	コース名	受講者数	期間	備考
98. 9.21-25	シーケンス制御	1	1週	
11.9-12.4	電気工事	3	4週	
99. 3.23-4.16	電気工事	2	3週	
6.14-7.23	電気工事	2	6週	
7.26-8.20	モータ巻き線	1	4週	
9.14-10.22	電機子巻き線	1	6週	カキリシュガーのオーダーメイド
9.13-10.1	シーケンス制御	1	4週	
11.1-11.26	モータ巻き線	1	4週	
11.8-12.3	モータ巻き線	4	4週	科長が UEB より集めてきた
11.8-12.3	電気工事	1	4週	
合計人数		17		

機械科

年月日	コース名	受講者数	期間	備考
98.10.12~11.20	機械加工、手仕上、保守コース	2	6W	
99.1.11~2.20	機械加工、手仕上、保守コース	2	6W	
99.3.2~3.21	機械加工、保守コース	1	4W	
99.3.14~4.4	機械加工、保守コース	1	3W	
99.6.21~7.3	機械加工、保守コース	2	6W	
99.8.23~10.1	機械加工、保守コース	1	6W	
	合計	9名		

自動車整備科

年月日	コース名	受講者数	期間	備考
99.1.18~1.29	運転者軽整備	2	2W	
99.1.18~2.26	自動車整備	2	6W	
99.3.15~4.23	自動車整備	4	6W	
99.6.28~7.9	運転者軽整備	15	2W	エセ7後援による
99.7.19~7.30	運転者軽整備	11	2W	エセ7後援による
99.8.2~8.13	運転者軽整備	13	2W	エセ7後援による
99.8.16~8.27	運転者軽整備	11	2W	エセ7後援による
99.8.23~10.1	自動車整備	1	6W	
99.8.30~9.10	運転者軽整備	20	2W	エセ7後援による
99.9.13~9.24	運転者軽整備	14	2W	エセ7後援による
99.10.25~12.3	自動車電装	4	6W	
	合計	97		

木工科

年月日	訓練コース名	受講者数	期間	備考
99.8	塗装基本実習	4	1W	指導員研修
	合計	4		

板金科

年月日	コース名	受講者数	期間	備考
98.9.7~10.16	配管(S-01-98-up)	2	6W	
99.1.11~2.19	配管(S-02-99-up)	1	6W	
99.6.14~7.23	板金(S-05-99-up)	1	6W	6W 中、2W は溶接科において溶接実技の訓練を実施
99.7.26~9.3	配管(S-06-99-up)	3	6W	
99.9.20~10.29	配管(S-07-99-up)	3	6W	
	合計	10		

溶接科

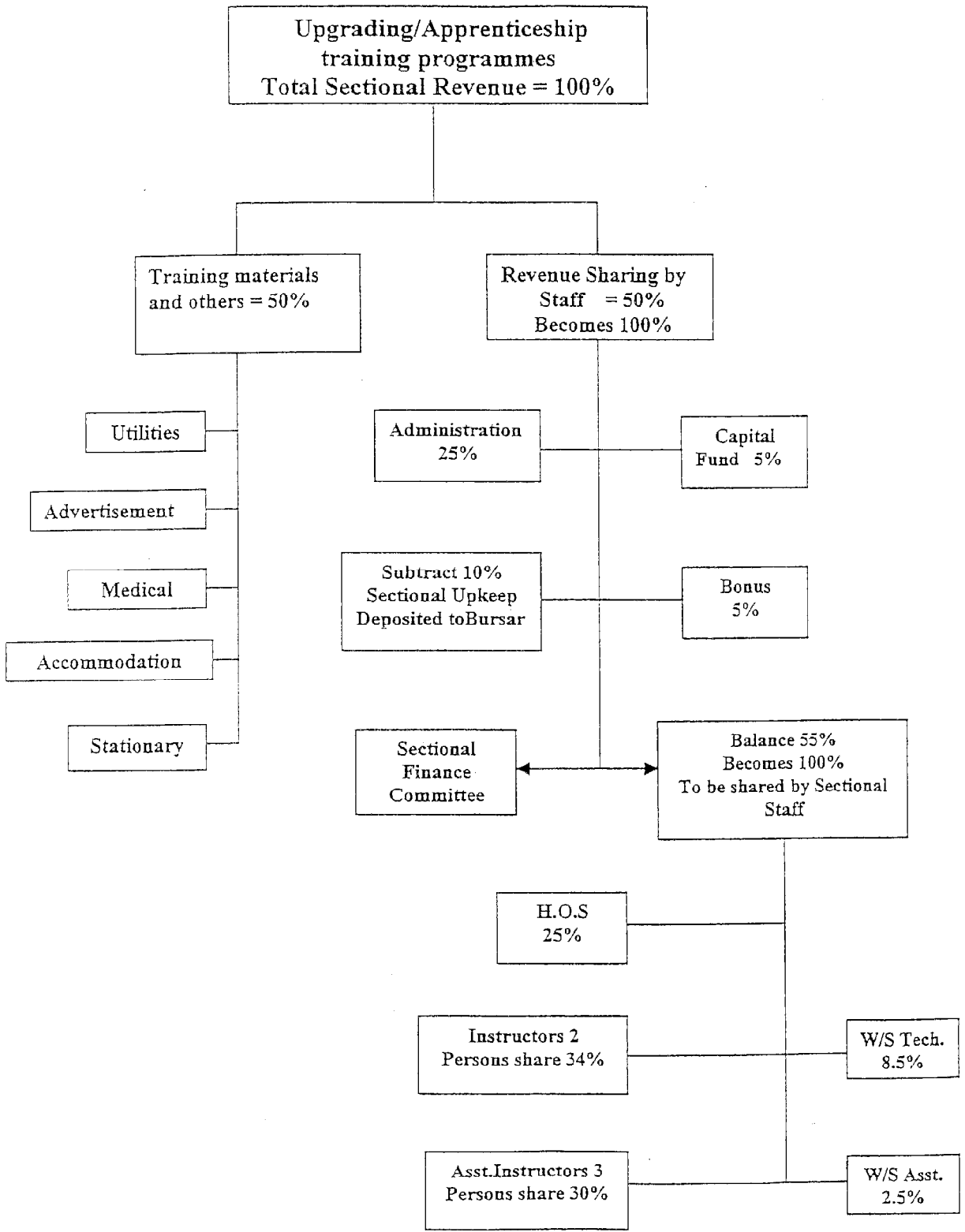
年月日	コース名	受講者数	期間	備考
98.6.21~7.21	Advanced Welding	1	1ヶ月	政府機関職員への訓練
	合計	1		

INCOME GENERATING COMMITTEE

UPGRADING/APPRENTICESHIP TRAINING PROGRAMMES

INCOME GENERATING BREAKDOWN

1. (a) Fixed Cost:
 - Utilities
 - Advertisement
 - Medical
 - Accommodation
 - Stationery
- (b) Variable cost
 - Training Materials, etc.
2. Recommendation:
 - (a) All Sections shall Charge **uniform rates** of Tuition fees and Boarding fees.
 - (b) Every Section shall determine the Training Materials Cost as this varies from section to section.
3. Breakdown of realised revenue
 - (a) Total amount collected from the sectional programme = **100%** this varies from Section to Section.
 - (b) **50%** is reserved to cater for the expenses directly affecting the training activity at both Sectional and administrative levels and this includes training materials.
 - (c) The other **50%** becomes **100% Revenue** to be shared by Stake holders.
 - i **25%** of the Revenue is retained by the Administration to cater for management and supervisory expenses.
 - ii **10%** is reserved in the Sectional upkeep some times called Sectional **maintenance fee**.
 - iii **5%** is to be shared by a particular individual or persons who contributed most towards marketing of the programme.
 - iv **5%** is retained as Equipment Fund.
 - (d) The remaining **55%** becomes **100%** and is distributed and shared among the Sectional staff who are directly in charge of Training and the ratios shall be determined by each sectional Finance Committee. However, the following formula indicated overleaf (1b) has been proposed by the I.G. Committee and it is subject to **Approval**.



INCOME GENERATING COMMITTEE CUSTOMER SERVICE

The following have been identified as probable income generating or sources of revenue the institute may earn to support **Sustainability** of operating costs.

1. Administration:

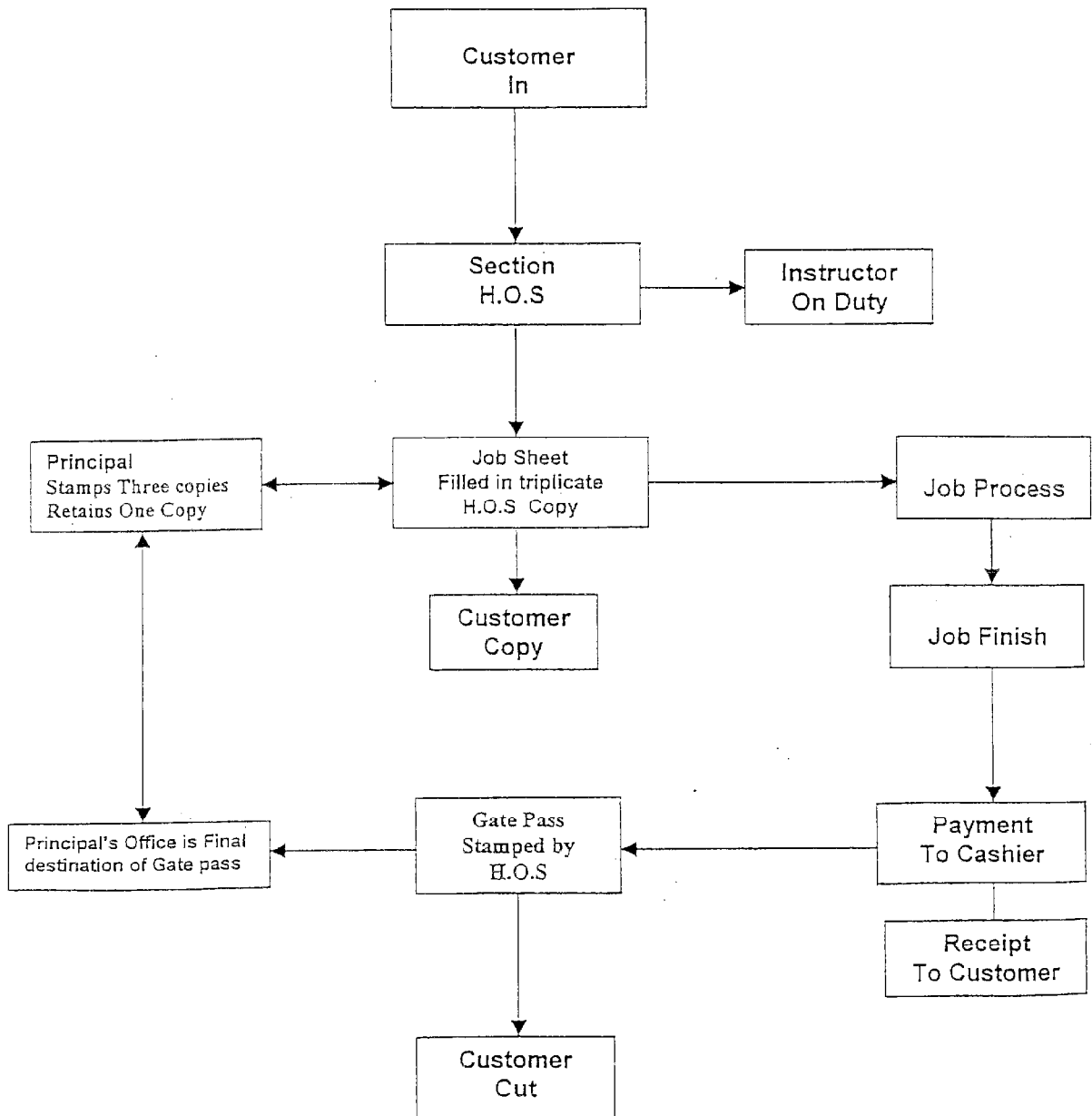
- Seminars
- Hiring out conference hall
 - Meals served to guests
 - Boarding facilities
 - Public address system
 - TV and Video
 - Hosting wedding ceremonies
 - Hosting graduation parties

- Kiosks, etc.- Eating Houses
- Soft drinks
 - Take away
 - Canteens
 - Others

2. Workshops:

- Outside Jobs
- Individual customer service
 - Plant/Factory orders
 - Institutional (internal) orders
 - Side products (Trainees exercises).

JOB ENTRANCE, PROCESS AND EXIT



BREAKDOWN OF MONIES REALISED FROM SECTIONAL PRODUCTION WORKS

1. Cost of Materials
2. Overhead charges on Equipment
3. Labour Charges

2+3 above = **100% Revenue**

- (a) 20% - Machinery expenses is to be reserved as **CAPITAL FUND**
- (b) **50%** - To be shared by Sectional staff
- (c) 25% - To be posted to Administration to cater for administrative and supervisory expenses
- (d) **5%** - **SECTIONAL UPKEEP FUND**

The **50%** of (b) above becomes **100%** and is shared out at Sectional level as per the proposals of the Sectional Finance Committee.

Scenario 1		Scenario 2	← Out come of scenario 2
1 Senior Instructor/H.O.S	25%	10%	
2 Instructors	34%	X	5% IS POSTED AS SECTIONAL UPKEEP FUND
3 Asst. Instructors	30%	X	
1 Workshop Technician	8.5%	5%	
1 Workshop Assistant	2.5%	X	
Bonus (distribution)	(5%)	10%	

➤ In Scenario 2 all the work is done by one person in the Section i.e a Technician operating a sheet Metal cutting machine.

Probable Charges/Cost Of Services Offered By The Administration

1. SEMINARS:

- a) Hiring out the conference facilities - Conference hall
 - O.H.P
 - Flip Chart Stand

* Total charges for the 3 items above = sh. 65,000= Per day

- b) In case, - Conference hall
 - O.H.P
 - Flip Chart Stand
 - Public address system
 - T.V and Deck

Total charges for the 5 items shall be = sh. 100,000= Per day

- c) Boarding - 8,000= per Person per day
 d) Meals: i) Breakfast - 2,500= - do -
 ii) Break Tea - 2,000= - do -
 iii) Lunch - 4,500= - do -
 iv) Evening Tea - 2,000= - do -
 v) Supper - 4,500= - do -

Sub Total 23,500= per Person per day

Note: The Meals charges reflect our standard Menu prepared by the Warden.

Hence, there is room for MENU negotiations with the Customer to suit his/her/group preference and charges shall be determined by the Administration in close consultation with the Warden.

Conditions of Boarding shall be treated separately from Meals and the Customer shall not be Bound by either.

2. HOSTING WEDDING PARTIES - 150,000= per day

3. HOSTING GRADUATION PARTIES - 150,000= - do -

4. KIOSKS: a) Canteens - 60,000= per month
 b) Eating Houses - 50,000= - do -
 c) Take Away - 50,000= - do -
 d) Soft drinks - 30,000= - do -
 e) Others - as the situation may demand

* FOR THE ABOVE 10% BONUS TO CUSTOMER IS PROPOSED

NAKAWA VOCATIONAL TRAINING INSTITUTE
P.O.BOX 20121, NAKAWA, KAMPALA Tel./fax 220935

JOB NO..... DATE:.....

CUSTOMER'S NAME.....

ADDRESS:.....

Item No.	<u>JOB DESCRIPTION AND COST BREAKDOWN</u>	Rate	Shs.
1.	Cost of materials		
2.	Add Workshop Overheads		
3.	Labour charges		
Total			

CONDITIONS OF ACCEPTANCE

This voucher is receipt of the above mentioned goods handed in to us and no collection can be claimed without production thereof. Any goods unclaimed after one month from the date of receipt may be sold by the Public Auction to defray expenses without prior notice to the customer.

1. The institute cannot accept any responsibility of articles left in the vehicles.
2. All vehicles are kept/driven at owner's risk.
3. No liabilities shall be accepted by the institute for loss and damage of goods once collected.
4. All payments should preferably be done in cash.
5. A deposit of 70% must be paid before a job is done.
6. Cheques should be paid to Principal Nakawa Vocational Training Institute.
7. This Job Order is not valid when it does not bear the signature of the Head of Section and stamp.
8. In case of any anomalies Customer is advised to contact the Principal.

\Customer: I have discussed the conditions under which the above mentioned job will be done and delivery time with Mr/Ms.....(Instructor) I agree to pay for the cost of the job.

Customer's signature.....

Head of section: Under my supervision, this job can be done by my trainees and can provide them with useful skills.

signature.....

Principal: signature.....

NAKAWA VTI INCOME GENERATING COMMITTEE QUARTERLY REPORTS OCTOBER, 1998 TO NOVEMBER, 1999.

ITEM NO.	DESCRIPTION	October-98						November-98						December-98					
		No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund	No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund	No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund
1	Administration													500,000.00	250,000.00	125,000.00	100,000.00	25,000.00	
2	Electronics	9	161,000.00	80,500.00	40,250.00	32,200.00	8,050.00	3	35,000.00	17,500.00	8,750.00	7,000.00	1,750.00	3	75,000.00	37,500.00	18,750.00	15,000.00	3,750.00
3	Electricity	1	5,000.00	2,500.00	1,250.00	1,000.00	250.00	3	337,000.00	168,500.00	84,250.00	67,400.00	16,850.00	2	337,000.00	168,500.00	84,250.00	67,400.00	16,850.00
4	Machining	9	337,000.00	168,500.00	84,250.00	67,400.00	16,850.00	17	854,400.00	427,200.00	213,600.00	170,880.00	42,720.00	7	192,000.00	96,000.00	48,000.00	38,400.00	9,600.00
5	Motorvehicle	12	224,000.00	112,000.00	56,000.00	44,800.00	11,200.00	6	130,000.00	65,000.00	32,500.00	26,000.00	6,500.00	8	170,000.00	85,000.00	42,500.00	34,000.00	8,500.00
6	Woodworking																		
7	Sheetmetal	14	816,000.00	408,000.00	204,000.00	163,200.00	40,800.00	6	183,000.00	91,500.00	45,750.00	36,600.00	9,150.00	8	191,200.00	95,600.00	47,800.00	38,240.00	9,560.00
8	Welding	6	120,000.00	60,000.00	30,000.00	24,000.00	6,000.00	10	271,950.00	135,975.00	67,987.50	54,390.00	13,597.50	11	650,400.00	325,200.00	162,600.00	130,080.00	32,520.00
TOTAL		51	1,663,000.00	831,500.00	415,750.00	332,600.00	83,150.00	45	1,811,350.00	905,675.00	452,837.50	362,270.00	90,567.50	39	2,115,600.00	1,057,800.00	528,900.00	423,120.00	105,780.00

ITEM NO.	DESCRIPTION	January-99						February-99						March-99					
		No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund	No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund	No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund
1	Administration		322,000.00	161,000.00	80,500.00	64,400.00	16,100.00		487,000.00	243,500.00	121,750.00	97,400.00	24,350.00		1,836,500.00	918,250.00	459,125.00	367,300.00	91,825.00
2	Electronics	7	172,000.00	86,000.00	43,000.00	34,400.00	8,600.00	5	78,000.00	39,000.00	19,500.00	15,600.00	3,900.00	3	17,000.00	8,500.00	4,250.00	3,400.00	850.00
3	Electricity	2	325,000.00	162,500.00	81,250.00	65,000.00	16,250.00	2	321,000.00	160,500.00	80,250.00	64,200.00	16,050.00	6	770,000.00	385,000.00	192,500.00	154,000.00	38,500.00
4	Machining	9	270,000.00	135,000.00	67,500.00	54,000.00	13,500.00	15	1,005,000.00	502,500.00	251,250.00	201,000.00	50,250.00	8	430,000.00	215,000.00	107,500.00	86,000.00	21,500.00
5	Motorvehicle	7	170,000.00	85,000.00	42,500.00	34,000.00	8,500.00	7	275,000.00	137,500.00	68,750.00	55,000.00	13,750.00	3	178,000.00	89,000.00	44,500.00	35,600.00	8,900.00
6	Woodworking																		
7	Sheetmetal	10	218,000.00	109,000.00	54,500.00	43,600.00	10,900.00	11	191,400.00	95,700.00	47,850.00	38,280.00	9,570.00	9	194,000.00	97,000.00	48,500.00	38,800.00	9,700.00
8	Welding	7	159,650.00	79,825.00	39,912.50	31,930.00	7,982.50	13	472,600.00	236,300.00	118,150.00	94,520.00	23,630.00	11	443,650.00	221,825.00	110,912.50	88,730.00	22,182.50
TOTAL		42	1,836,650.00	918,325.00	459,162.50	327,330.00	81,832.50	53	2,330,000.00	1,165,000.00	582,500.00	466,000.00	116,500.00	40	3,869,150.00	1,934,575.00	967,287.50	773,830.00	193,457.50

ITEM NO.	SECTION	MONTH DESCRIPTION	April-99					May-99					June-99						
			No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund	No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund	No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund
1	Administration		1,368,400.00	684,200.00	342,100.00	273,680.00	68,420.00		1,472,300.00	736,150.00	368,075.00	294,460.00	73,615.00		2,093,600.00	1,046,800.00	523,400.00	418,720.00	104,680.00
2	Electronics	6	55,000.00	27,500.00	13,750.00	11,000.00	2,750.00	2	30,000.00	15,000.00	7,500.00	6,000.00	1,500.00	8	90,000.00	45,000.00	22,500.00	18,000.00	4,500.00
3	Electricity	4	528,600.00	264,300.00	132,150.00	105,720.00	26,430.00	3	245,000.00	122,500.00	61,250.00	49,000.00	12,250.00	2	360,000.00	180,000.00	90,000.00	72,000.00	18,000.00
4	Machining	4	250,000.00	125,000.00	62,500.00	50,000.00	12,500.00	7	529,000.00	264,500.00	132,250.00	105,800.00	26,450.00	3	90,000.00	45,000.00	22,500.00	18,000.00	4,500.00
5	Motorvehicle	13	618,000.00	309,000.00	154,500.00	123,600.00	30,900.00	5	155,000.00	77,500.00	38,750.00	31,000.00	7,750.00	2	70,000.00	35,000.00	17,500.00	14,000.00	3,500.00
6	Woodworking																		
7	Sheetmetal	11	276,300.00	138,150.00	69,075.00	55,260.00	13,815.00	14	347,000.00	173,500.00	86,750.00	69,400.00	17,350.00	17	209,000.00	104,500.00	52,250.00	41,800.00	10,450.00
8	Welding	21	617,000.00	308,500.00	154,250.00	123,400.00	30,850.00	19	1,072,000.00	536,000.00	268,000.00	214,400.00	53,600.00	20	1,316,650.00	658,325.00	329,162.50	263,330.00	65,832.50
TOTAL		59	3,713,300.00	1,856,650.00	928,325.00	742,660.00	185,665.00	50	3,850,300.00	1,925,150.00	962,575.00	770,060.00	192,515.00	52	4,229,250.00	2,114,625.00	1,057,312.50	845,850.00	211,462.50

ITEM NO.	SECTION	MONTH DESCRIPTION	July-99					August-99					September-99						
			No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund	No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund	No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund
1	Administration		60,000.00	30,000.00	15,000.00	12,000.00	3,000.00		300,000.00	150,000.00	75,000.00	60,000.00	15,000.00		200,000.00	100,000.00	50,000.00	40,000.00	10,000.00
2	Electronics	8	68,000.00	34,000.00	17,000.00	13,600.00	3,400.00	5	67,000.00	33,500.00	16,750.00	13,400.00	3,350.00						
3	Electricity	2	260,000.00	130,000.00	65,000.00	52,000.00	13,000.00	3	165,000.00	82,500.00	41,250.00	33,000.00	8,250.00	2	52,000.00	26,000.00	13,000.00	10,400.00	2,600.00
4	Machining	9	476,500.00	238,250.00	119,125.00	95,300.00	23,825.00	9	583,000.00	291,500.00	145,750.00	116,600.00	29,150.00	5	219,800.00	109,900.00	54,950.00	43,960.00	10,990.00
5	Motorvehicle	14	518,000.00	259,000.00	129,500.00	103,600.00	25,900.00	5	175,000.00	87,500.00	43,750.00	35,000.00	8,750.00	12	299,000.00	149,500.00	74,750.00	59,800.00	14,950.00
6	Woodworking																		
7	Sheetmetal	24	539,000.00	269,500.00	134,750.00	107,800.00	26,950.00	15	343,000.00	171,500.00	85,750.00	68,600.00	17,150.00	4	117,000.00	58,500.00	29,250.00	23,400.00	5,850.00
8	Welding	24	1,357,400.00	678,700.00	339,350.00	271,480.00	67,870.00	28	2,216,800.00	1,108,400.00	554,200.00	443,360.00	110,840.00	19	904,500.00	452,250.00	226,125.00	180,900.00	45,225.00
TOTAL		81	3,278,900.00	1,639,450.00	819,725.00	655,780.00	163,945.00	65	3,849,800.00	1,924,900.00	962,450.00	769,960.00	192,490.00	42	1,792,300.00	896,150.00	448,075.00	358,450.00	89,615.00

MONTH		October-99					November-99						
		No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund	No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund
ITEM NO.	DESCRIPTION												
1	Administration		33,680.00	16,840.00	8,420.00	6,736.00	1,684.00		60,000.00	30,000.00	15,000.00	12,000.00	3,000.00
2	Electronics							1	5,000.00	2,500.00	1,250.00	1,000.00	250.00
3	Electricity	2	60,000.00	30,000.00	15,000.00	12,000.00	3,000.00						
4	Machining	9	280,000.00	140,000.00	70,000.00	56,000.00	14,000.00	10	984,000.00	492,000.00	246,000.00	196,800.00	49,200.00
5	Motorvehicle	9	235,500.00	117,750.00	58,875.00	47,100.00	11,775.00	7	165,000.00	82,500.00	41,250.00	33,000.00	8,250.00
6	Woodworking												
7	Sheetmetal	16	676,000.00	338,000.00	169,000.00	135,200.00	33,800.00	13	227,000.00	113,500.00	56,750.00	45,400.00	11,350.00
8	Welding	14	1,731,800.00	865,900.00	432,950.00	346,360.00	86,590.00	23	1,585,000.00	792,500.00	396,250.00	317,000.00	79,250.00
TOTAL		60	3,016,980.00	1,508,490.00	754,245.00	603,396.00	150,849.00	54	3,026,000.00	1,513,000.00	756,500.00	605,200.00	151,300.00

PERIOD		FROM OCTOBER 1998 TO NOVEMBER 1999(14MONTHS)					
		No of Jobs	Total collection	50% Sectional income	25% Administration	20% Capital fund	5% Sectional up keep Fund
ITEM NO.	DESCRIPTION						
1	Administration	12	8,733,480.00	4,366,740.00	2,183,370.00	1,746,696.00	436,674.00
2	Electronics	60	678,000.00	339,000.00	169,500.00	135,600.00	33,900.00
3	Electricity	34	3,765,600.00	1,882,800.00	941,400.00	753,120.00	188,280.00
4	Machining	121	6,500,700.00	3,250,350.00	1,625,175.00	1,300,140.00	325,035.00
5	Motorvehicle	110	3,382,500.00	1,691,250.00	845,625.00	676,500.00	169,125.00
6	Woodworking	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	Sheetmetal	172	4,527,900.00	2,263,950.00	1,131,975.00	905,580.00	226,395.00
8	Welding	226	12,918,400.00	6,459,200.00	3,229,600.00	2,583,680.00	645,920.00
GRAND TOTAL		735	40,507,580.00	20,253,790.00	10,126,895.00	8,101,516.00	2,025,379.00